

ご意見	検討結果
<p>○計画全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化センター等を移動する場所が、サンヒルやリビエール等だと、老人には行くのが大変です。 ・どうしてオアシス等も移動するのか、市民へのきちんとした説明がないのもおかしいです。 ・柏原市の土地を切り売りして、何を企んでいるのか！？文化・教育・福祉etc…富宅市長、公約に掲げた事は、何だったんですか？現在のままで！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。
<p>人口が減り続ける柏原市、市長に立候補の公約は『日本一住みやすい柏原市にする』でしたね。若い現役世代に転居してきてもらおうとしたら、子育てや教育環境を良くするとともに、市民の自主的な活動(音楽、美術、スポーツ、学習…)など文化あふれる都市でなくてはなりません。この計画は、それに逆行しています。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>なくなってしまうと沢山の柏原市民が困ることになると思います。柏原から若者が減っていくことにもつながるのではと思います。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>今までのように自宅から徒歩でも行ける場所に施設は欲しいです。遠くになると、これからはますます出かけなくなり家に閉じ込めることが多くなると思います。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなで作る暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えていますが、一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関する学習活動も心にとどめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。"など"で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>サンヒル柏原に機能移転となれば、交通の便が悪く、体力的に通える自信がありません。バス等を増便したとしても不便このうえないことには変わりはありません。これまで生涯学習として参加してきましたが、そうなれば、参加を見送らざるを得なくなります。それは、学習の場を奪われる行為で、残念でなりません。</p> <p>私たちは新築を望んでいるわけではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。

ご意見	検討結果
<p>柏原市公共施設等再編整備基本計画(素案)(以下、素案に基づく公共施設の統廃合・再編は、市民の文化・交流施設の利用頻度や利便性の低下に繋がると考える。なぜならば、利用者の公民館本館や公民館堅下分館等への交通手段の大半が徒歩と自転車であり、そのことは素案の施設利用者へのアンケート調査にも示されているからである。また、柏原町と国分町の合併で誕生した柏原市の歴史性を考えると、柏原地区と国分地区のそれぞれの地区に図書館や福祉的施設が設置されてきたことは必然であると考えられる。しかし、素案に示された「都市拠点」によるまちづくりの方向性は、上記の歴史性に逆行するものと考えられる。したがって、人口減少に伴って公共施設の総量削減を進めるのではなく、市民の共有財産である公共施設の長寿命化に向けて、市民と行政が継続的な対話説明会開催などから始めて頂きたい。このような対話の中でこそ、市民の願いや要求にも沿うような公共施設の維持管理の方策が見つかる可能性があるのではないだろうか。素案に基づく計画が市民的な対話抜きに、公共施設の統廃合・再編が拙速に進められることのないことを願うものである。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>反対</p> <p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えていますが、一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとどめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>高齢化してくる社会で車も乗れなくなり交通の不便に加え、まして高台にある所まで、体力気力共に落ちてくる者に対してあまりにも過酷であります。せめて、市街地であるアゼリアにしてほしいです。</p> <p>私たちは新築を望んでいるわけではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

(別添資料)寄せられたご意見と検討結果

ご意見	検討結果
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方だけではなく、それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければならないかもしれません。それは確約できるのででしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習としての活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為とされています。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとどめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。椿会の代表として会員の意見を述べさせていただきます。</p> <p>文化連盟に属する食文化部椿会は年齢も高齢になりつつある中、市民文化の活動可能な場所で、月一回ですが指導先生の下で料理に和気あいあいと活動しております。料理講座は、事前に使用する料理の食材をスーパーに依頼して届けて頂き、交換や不足にも対応して貰っています。もう食材等のモノがあれば、近くのスーパーで直接買い足しに行きます。このように臨機応変に対応出来るのも市街地にある今の市民文化センターが役割を担っているからこそです。</p> <p>もし、サンヒル柏原に移転することになれば、丘陵地で交通の利便性が非常に悪い所に、希望時間どおり食材等の配達はとも無理と考えられ、椿会としての存続も不可能に近いと考えます。公民館がどうしても存続不可能なら、この候補場所の中で国分の方の利便性に不安はありますが、椿会としてはアゼリアを希望したいと思えます。最後に柏原市へのタクシーの配車状況は、土日ともなれば極端に減らされ利用するにも非常に時間がかかる今の状況をご存知でしょうか?とてもサンヒルまで時間の通りには間に合わない事を申し添えたいと思えます。</p> <p>以下、他の会員の意見を添えさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化してくる社会で車も乗れなくなり交通の不便に加え、まして高台にある所まで、体力気力共に落ちてくる者に対してあまりにも過酷であります。せめて、市街地であるアゼリアにしてほしいです。 ・サンヒル柏原では行く自信がないし、バス等増やしても不便このうえないから、会の参加は見送らざるを得ない。 ・高齢者や子供にとっては、安堂駅からサンヒル柏原までの坂道は半端なくキツイものです。サンヒル柏原への移転は中止して下さい。今の図書館は駅に近く幼稚園や小学校も側にあり治安もよく安心して利用出来ます。リビエールは交通量も多く子供一人では危険です。文化センターが老朽化しているのは分かります。それなら同じ場所に図書館等、今と同じように新たに建てて下さい。この移転計画は、市民の利便性や移転後の使い勝手等何も考えていないと思う。市民目線が抜けている。 ・サンヒルに集約と聞いていたが、文化センター建て替えに伴う一時的なものと思っていた。 ・現在の文化センターは駅からも近く、私達高齢者は利便性第一と考えています。 ・一時椿会を退会して今期再入会したものです。再入会した第一の理由は、やはり料理は認知症予防に非常に有用であると実感した次第ですが、今回のサンヒル柏原への移転は、私に退会せよと命じられているように感じる程交通の利便性が悪くて封底納得いきません。 ・サンヒルは駅からも速くしかも歩いて行くには坂道です。そのような所を拠点にするなど高齢者、子育て世代の事を全然考慮していないように思う。サンヒルなら私達椿会のメンバーは高齢者が多いためとても無理なので解散の危機です。文化センターだからこそ皆さん和気あいあいと長い年月楽しく続けられてきました。サンヒルの案はとても残念です。 ・私たちは新築を望んでいるものではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。 ・また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。 ・小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。 	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p> <p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>
<p>サンヒルは不便な所なので、無くしてもいいです。他の施設は現在の場所で存続してもらったら利用しやすいです。市内循環バスが雁多尾畑には回っていません。だから高齢者や、身障者が、困っています。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>今利用している所は近くて良かったのに坂のきつい所へ出かけるのは大変です 特に私達老人にはきついと思いますので、よく考えて今のままで出来ることを考えてほしい</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市民の便利を考えろ 何を考えているか</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

(別添資料)寄せられたご意見と検討結果

ご意見	検討結果
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。この計画の概要版を見ますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないのでしょうか、それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方だけではなく、それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習の場としての活動を支援する講師として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。</p> <p>コロナ禍の数年は、調理、試食を伴う会の特性上、活動の機会を奪われ、会員数が減少しました。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為とされています。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとめて頂きたいと思えます。会は、生涯学習の場としての機能、ひいては会員の社会参加の場として有用な会であると自負しております。しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまふ訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。その環境を奪わないでください。</p> <p>以下は、所属する会員各々の意見です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化連盟に属する食文化部椿会は年齢も高齢になりつつある中、市民文化の活動可能な場所で、月一回ですが指導先生の下で料理に和気あいあいと活動しております。事前に使用する料理の食材をスーパーに依頼して届けて頂き、交換や不足にも対応して貰っています。もしも食材等のモレがあれば、近くのスーパーで直接買い足しに行きます。このように臨機応変に対応出来るのも市街地にある今の市民文化センターが役割を担っているからこそです。 ・もし、サンヒル柏原に移転することになれば、丘陵地で交通の利便性が非常に悪い所に、希望時間どおりに食材等の配達はとも無理と考えられ、椿会としての存続も不可能に近いと考えます。公民館がどうしても存続不可能なら、この候補場所の中で国分の方の利便性に不安はありますが、椿会としてはアゼリアを希望したいと思えます。最後に柏原市へのタクシーの配車状況は、土日ともなれば極端に減らされ利用するにも非常に時間がかかる今の状況をご存知でしょうか?とてもサンヒルまで時間の通りには間に合わない事を申し添えたいと思います。 ・高齢化してくる社会で車も乗れなくなり交通の不便に加え、まして高台にある所まで、体力気力共に落ちてくる者に対してあまりにも過酷であります。せめて、市街地であるアゼリアにしてほしいです。 ・サンヒル柏原では行く自信がないし、バス等増やしても不便このうえないから、椿会の参加は見送らざるを得ない。 ・高齢者や子供にとっては、安堂駅からサンヒル柏原までの坂道は半端なくキツイものです。サンヒル柏原への移転は中止して下さい。今の図書館は駅に近く幼稚園や小学校も側にあり治安もよく安心して利用出来ます。リビエールは交通量も多く子供一人では危険です。文化センターが老朽化しているのは分かります。それなら同じ場所に図書館等、今と同じように新たに建てて下さい。この移転計画は、市民の利便性や移転後の使い勝手等何も考えていないと思う。市民目線が抜けている。 ・現在の文化センターは駅からも近く、私達高齢者は利便性第一と考えています。 ・一時椿会を退会して今期再入会した者です。再入会した第一の理由は、やはり利便性は認知症予防に非常に有用であると実感した次第ですが、今回のサンヒル柏原への移転は、私に退会せよと命じているように感じる程交通の利便性が悪くて到底納得いきません。 ・サンヒル柏原に集約と聞いておりましたが、文化センター建て替えに伴う一時的なものと思っていました。 ・サンヒルは駅からも速くしかも歩いて行くには坂道です。そのような所を拠点にするなど高齢者、子育て世代の事を全然考慮していないように思う。サンヒルなら私達椿会のメンバーは高齢者が多いためとても無理なので解散の危機です。文化センターだからこそ皆さん和気あいあいと長い年月楽しく続けられてきました。サンヒルの案はとても残念です。私たちは新築を望んでいるものではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います、また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。
<p>再編整備は社会情勢等のその時代に合わせて行うべきものであり、今回の再編整備という考えには異議はありません。</p> <p>再編整備をする時には、10年、20年先のことも見据えて計画することも必要だと見ます。</p> <p>社会全体で子育てを応援しよう、高齢者は介護が必要になっても地域社会で自立した生活を送ることができるようにと制度化されて、時代は変わってきています。</p> <p>柏原市の街中をみると、ベビーカーを押したお母さんが移動するのに苦労されているところを見かけることがあります。小銭の計算が出来ない高齢者がスーパーの店員のサポートを受けて精算しているところを見かけたこともあります。高齢者や小さなお子さん等が街中でいろいろなことで苦労されていることを見かけます。私は電動車椅子に乗る身体障害者です。身体障害者にもいろいろな問題があります。市役所本庁舎まで相談、申請に行くことは体力も時間もかかります。</p> <p>市役所は私たちの身近な相談先です。これから子育てや高齢者等の相談をしたいと考える人が増えることは様々な資料、論文等からも予測はできます。今後、柏原市においてその相談先が柏原駅周辺、国分駅周辺に住む市民からは離れた市役所本庁舎、サンヒルになると、ますます相談することは敷居が高くなるように感じます。電話すればよいのでは、簡単に市役所にいけるのでは、相談したくても様々な事情で大和川のある市役所本庁舎まで相談に行けない人はたくさんいる、これからの人口指数からも困る人が増えてくることは確実だと思います。基本計画素案にはその点の配慮として循環バスの利用を挙げられていますが、循環バスは誰でも自由に乗車できるノンステップバスではない、本数は少ない。車椅子利用者は前日までに予約しないといけぬ。杖をついてもゆっくりしか歩けない人、ベビーカーを押す人、押し車を押す高齢者など様々な人が利用したいはず。急ぎで市役所に相談したい人もいるはず。配慮の点は一部の人にはしか利点はないようにも感じます。</p> <p>各部署の中核としてこの再編整備として、合わせて、柏原駅周辺と国分駅周辺にも相談しやすい窓口施設を再編整備のひとつとして考えていただきたいです。窓口でしか対面できず相談できない人はたくさんいるはず。包括支援センターへの相談が今後増えてくることは目に見えています。柏原駅周辺に国分駅周辺にも包括支援センター、子育て、高齢、障害者の福祉の相談窓口開設をお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いただきました内容は、今後の検討といたします。

ご意見	検討結果
<p>・何んでも彼でも、市の思い通りに片づけられる事に怒りを感じます！市長になられた時、「日本一住みよい柏原市にする」と宣言されました。ならば、人口が減り続ける柏原市、若い現役世代に、転居してもらおうとしたら、子育てや、教育環境を良くする、市民の喜ぶ都市でなくてはなりません。そして、高齢者始め、坂道の多い土地環境の柏原市にふさわしい、バス運行を、増発してもらい、すべての市民の安心出来る、生活改善に、力を入れて下さい。</p> <p>・現在の市政は、市民によりそっていません！市長！もっと、良く考えて、私達を、助けて下さい！</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市民文化センターや堅下合同会館の、サンヒル柏原やリビエールホールへの移転について、とても良い案だと思います。限られた税収の中で、建て替えてではなく、今ある施設を有効利用することで、未来の市民(今の子供達)の負担を抑えることができます。今の駅近の立地の利便性を補うためには、無料の循環バスを整備したり、市内の全鉄道駅に図書館の返却用ポストを設置するなど、いくらでも方法があると思います。市民、特に若い世代から要望やアイデアを募集すべきです。リビエールホールは駅からも近く、河川敷も目の前という立地なのに、子供達が遊べる空間がなぜ建物内に無いのかと前から思っていたので、今回図書館がリビエールに入る案は、とても良いと思います。ぜひ、就学前から高校生まで幅広い層の子どもたちが利用しやすい、新しい柏原市の子どもたちのためのスペースにしてほしいです。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p> <p>・いただきました内容は、今後の検討いたします。</p>
<p>公共施設は、地域住民が利用しやすい場所にあることが大切だと思います。</p> <p>今回の基本計画はサンヒル柏原への移転が多く徒歩や自転車では、時間もかかり、限られた人しか、行きにくい場所です。</p> <p>循環バスの利用ができるとしてもかなり不便です。</p> <p>せめて文化センターやオアシスは、現在の場所に建て替えることを再検討していただきたいと思います。そして新しい場所で若者に利用される魅力的な場所になってほしいと思います。以上意見として申し述べます。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>
<p>・市民の声に答えるための説明会を開いて頂きたい。</p> <p>・少子高齢化が進むなか、より文化、芸術、教養、趣味情報など市民が学び集い楽しく交流などができる利便性、機能性などを生かしたものであること</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市民の意見を広く聞きたいなら、たった1ヶ月の応募期間では短すぎます。どうか広報誌にアンケートを挿んで市民全部の意見と求めて下さい。あまりにも御座なりなやり方です。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>柏原市民文化センター、堅下合同会館、健康福祉センター オアシスは現在の場所で十分利便性が良いので、又災害の時に避難所にもなるので、リフォーム(リニューアル)するのは良いですが存続して頂きます様お願いします。サンヒル柏原は元は、宿泊(レジャー)目的に建設されたので公共施設には不向きです。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p> <p>・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>
<p>この移転計画は市民の利便性や移転した後の使い勝手など何も考えてないと思います。市民目線が抜けています。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

(別添資料)寄せられたご意見と検討結果

ご意見	検討結果
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の榎会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。榎会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとどめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>榎会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>サンヒル柏原に機能移転となれば、交通の便が悪く、体力的に通える自信がありません。バス等を増便したとしても不便このうえないことには変わりはありません。これまで生涯学習として参加してきましたが、そうなれば、参加を見送らざるを得なくなります。それは、学習の場所を奪われる行為で、残念でなりません。</p> <p>私たちは新築を望んでいるではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>・人口が減っている事を何度も書かれていますが、住民サービスの低下が人口減少を生んでいます。このままでは負のスパイラルに陥ります。</p> <p>・図書館は市民の憩いの場所であり学びの場所でもあります。バスの増便についても触れられていますが、「検討」ではなく「必須」の問題です。また土日運行が基本と考えます。市民アンケートでは10～20代の利用者は減少傾向にあるとの事ですが、いじめ被害者や不登校の子ども達の心の拠り所になる「書籍」から子ども達から遠ざけないで下さい。</p> <p>・サンヒル柏原まで普通の自転車で行く事は高齢者には不可能です。上記のバスの増便・土日運行とともにオンデマンドバスやタクシーチケットの配布が必須の条件だと考えます。</p> <p>・『ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮された、利用者によさしい施設とします』との記述がありますがサンヒル柏原への道のりは配慮されているとは到底考えられませんし、優しい道のりではないと考えます。</p> <p>・今、全国各地で地震がおきています。南海トラフ地震についてもご承知だと存じます。災害時に各施設は防災拠点となるべき場所です。防災備蓄品の保管についても分散が各地で提案されている中、防災拠点を減らすとは正気の沙汰ではないと考えます。</p> <p>・財政状況についても書かれていますが、ないのは「お金」ではなく「施設を残す気」だと考えます。統廃合ありきのお考えはやめて下さい。</p> <p>・SDGsについて素案の中で「環境負荷の少ないエネルギー利用の促進」について記述があります。今まで貸会議室まで自転車で行っていたのに自動車で行かなくてはならなくなったら移動手段の自動車の排気についてはどうお考えですか。トータルでご判断下さい。</p> <p>・リビエールホールの図書館機能はピロティ、機械式駐車場、カフェ…とありますが現在の喫茶ベリーはどうなるのでしょうか。ホール施設に喫茶店(テイクアウト施設含む)がないところはありません。河川敷を利用される方の憩いの場にもしていくのご提案ですがカフェは必要不可欠だと考えます。私は上記理由により各施設の存続を強く求めます。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。また、パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p> <p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p> <p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>施設移転は反対です。特に高齢者にとっては、利用している施設の移転は大きな負担になります。高齢者、子供達にやさしい町づくりをお願い致します。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>不便なところへの移転など大変困ります。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>びっくりしました。文化センターは、利便性の良い立地です。なので市民の利用しやすい場所です。是非現状維持を願います。もし変更されるのであれば、なぜ移転・統合なのかの根拠と、どんな柏原市を創ろうとしておられるのか将来のビジョンをお示し下さい。私見ですが、街が活性化するのは“人が動く”ことだと思っています。高齢化・少子化・市の人口の減少(→歳入の減少)など市としてのお考えもおありだと思います。実はこうなると、丁寧にことわけてお話頂く機会を持って頂きたいと思います。納得できれば住民として協力もできます。公共施設は、たくさんの市民が利用できる程、値打ちの出てくる物だと思います。オアシスの廃所でガッカリされた方も多いと聞きます。人が生き生き動き交流できる場の存続で、健康寿命ものびれば長い目で見て柏原市の財政も潤います。その上に人という財産も残ります。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>今回、市が提案する施設の移転に反対します。 1. 柏原市がすみよい町として広く認知される中で住民が増えることを願っています。もちろん現在住んでいる立地から住民サービスが魅力的であることを望んでいます。 2. 今回いくつかの施設がサンヒルやKIホール、リビエルホールに統合、移転されることは1の観点より受け入れ難いです。例:文化センターでは小中学校の支援学級の児童・生徒の発表会を行ってきました。肢体不自由の子ども達など集まりやすい文化センターが無くなる事は人権・教育権の保障からも十分に考慮し再考願いたいです。 3. 多くの施設は市民の財産です。市民生活、高齢者の住みよい町づくりに合致しない売却が許されません。選挙で市民に問うた上、そこで選ばれた議会で審議されるべき重要な内容です。少くとも市議会議員の選挙を求めます。住民投票でも良いと考えます。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市民の意見を本気で聞けなら、1か月では無理だと思います。色々な場所で説明会を開いて意見を聞いてほしいです。 市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。 市長は市民に対してどのような「選ばれるまち」を考えられているかを市民に説明して頂けませんか。公共施設等再編整備計画との整合はどう考えられているのですか。 5月号広報かわらで市政運営方針に対する自民民主党・無職属の会が「市民の利便性を考慮した公共施設再編」の質疑で、始めて市民が分かったもので、これに関連した再編整備基本計画(素案)に対する意見などを募集することを市民に対して求められているのですか。 この計画の概要版をみますと市民の意見の結果とのことですが、この意見などの結果を市民に公表しているのか疑問です。現在、柏原市を取り巻く厳しい市への現状と課題としては、人口減、少子高齢化、空き家・マンションの増加、都市機能(公共施設)の分散による移動利便性の低下、公共交通のサービス低下(特に土・日曜日前日にタクシーの予約も出きません)、市街地においてにぎわいがなく閑散として活力の喪失、シンボルや町の核機能の喪失、公共施設の老朽化並びに遊休施設の目的外活用、この3年3ヶ月続いた新型コロナ感染拡大が収束のない状況で社会経済・市民生活様式の様変わり、心配・不安が残る市民生活の低下、これから柏原市の2070年の人口推定はおおよそ4万人と推測されますが、柏原市の現況などを把握検討して市行政の施策を考えるべきだと思っています。 この再編整備基本計画素案をみれば具体的に本年度から着手する内容で何を策定すればいいのか委託業者は頭を抱えることと思いますが、何故、小学校・中学校を再編対象施設から削除されているのは、何かの理由、目的があるのですか。 市行政が民間委託されようとしている公共施設再編整備基本計画素案は、市と市民が協働して公共施設に関連する情報を共用することは大変重要であり、パソコンでのホームページや市広報のみの周知だけではなくて必要不可欠に応じて市民(区長含む)への説明会を行うなどの配慮が必要であり、情報の積極的な公表開示に努めるべきであると考えています。 既に文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。サンヒル柏原はこれまでの市長の汚点を残しているのではないのですか。 サンヒル柏原は当初、1989年に(旧)社会保険庁が(旧)大阪府健康保養センターを建て本市がこの施設を受け継いだことが事業運営する業者がこの施設を閉鎖して、これまで遊休施設でありレストランなどの目的外活用を図ってきたもののこの6月30日をもってまた閉店するようですが、サンヒル柏原はいろいろと問題課題のある施設であり、温泉活用ができ、市民の健康維持が出来るような施設に復活を希望しています。 公共施設は公共資産であり普通資産に転用変更するには、地方自治法、都市計画法などの法律に準用して公共施設の再編計画をすべきではないでしょうか。遅くはないと思慮するところですが、市長はじめ市会議員、市行政職員、市民(区長も含む)が参画する検討会などを設けてはいかがでしょうか。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。 ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・学校施設は「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画」との整合性を考慮し、今回の計画(素案)の対象施設とはしていません。いただきました内容は、今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p>
<p>自転車で行ける所が良い。今の所に建替えて下さい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>4月の広報誌で突然知った内容で驚いています。柏原市民になって丁度50年ですが、私の世代も、子どもたちの世代もずい分お世話になった施設ばかりです。これからまだまだ進行形なのに突然分散や集約化されると言われて、おまけに意見をきいてもらえる時間が4/13～5/12日というのは短すぎませんか？お金では買えない自然環境にふさわしい柏原独自の文化環境を充実させることを大切にしてほしいと、心から願っています。先ずはパブコメの期間延長を切に願います。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>隣国からミサイルがとんで来ると、テレビ画面にアラームが長時間映し出されました、私は来るかもしれない為の予行演習？と咄嗟に思った。自衛隊の駐屯地には、頑丈な地下化にするというが、国民、市民に対しても公共の頑丈な地下シェルターが必要になってくると思います。市民の命を守ることを一番考えて公共施設等再編整備を考えてください。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>山の上は私には遠すぎます。 整備基本計画(素案)につき私の意見をお聴き下さい。先ず立地条件、高齢化が進む中道路条件等も非常に悪く、集まる方々も減少して来ると思います。もし増えたとした場合、悪条件的な何らかの事故等が多発する様に思えます。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>住みよい町、柏原の未来の為に今の住民は、問題提起が必要だと思えます。公共施設を整備するなら、利用者の利便性、使い心地の良さに目を向けるべきかと思えます。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>旧ハローワークの解体・売却について今の世の中の建物のトレンドは、解体・売却ではなくリニューアル有効活用。全国各地に学校の廃校後の利用事例など沢山存在。素案の旧ハローワークなど遊休施設である市民の財産を上手く生かすという面から、次の点について明確にしてください。まず解体ありきとなっているが、過去は新庁舎建設の仮住まい、その使用後の施設活用は、どのように検討したのか？これまでには、元「栄吉」上の「市民交流広場」が無くなり、今回の計画案では公民館が無くなり、市役所周辺に移転。柏原地区の市民プラザの貸し施設を除きまったく「市民交流」の場所は無くなる中、中心市街地に人が活発に集まり活動する空間を確保する考えはないのか？中学校とも隣接、次世代の人を集め支える文化教育ゾーンに位置する「旧ハローワーク」は、売却費－解体費＝利益700万円(5.8-5.1=0.7)とわずか。売却が答えではなく市民の資産の有効利用をオープンに追究すべきなのに、なぜ即、解体・売却なのか？</p>	<p>・「概算事業費」におきまして、旧ハローワークの解体・売却につきましては、上位計画である「柏原市公共施設等総合管理計画」における施設総量の削減と、財源確保のために計上しているものですが、跡地利用につきましては、計画(案)におきましても、必ず売却すると決定されたものではありません。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>柏原市民文化センターと堅下合同会館と健康福祉センターオアシスは、今の場所で十分機能を果していますから、存続をお願いします。サンヒル柏原は立地条件が悪い。特に坂が急で道幅が狭い所がある。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>
<p>自然豊かな柏原で子供たちを育て、働きあつという間に高齢者になった今 ①オアシスでの体操への参加 ②図書館の利用 ③病院へのバスの利用など かかせない物です。これからも若い人、高齢者にやさしい町であってほしいと思っています。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>私は20年程前に大阪市の街なかから、自然安らぎを求めて柏原市に引っ越し家を買いました。大自然の中で子どもを産み育てられ、自分達の子や孫も柏原市に住み続けられると思っていました。そして当時は同世代の若い友達夫婦等にも柏原市で住む事を勧めたりもしていました。しかし、住めば住む程知れば知る程、大切な施設がどんどん潰されたり統合されたりしていきます。近くにあった産院も閉院され、地域で安心して出産できる病院がありません。また地域の子ども達が日々伸び伸び育っていた自然に囲まれた公立幼稚園はあつという間に廃園になりました。そして、このたくさんの公立施設が潰されてしまう計画。利用している市民がいるのに、そこで汗水流し家族のため柏原市のために働く職員がおられるのに。 柏原市民が、自分達の柏原市に誇りを持てるように、高齢者が住みやすく子ども達が伸び伸び育ち、若者世代が住み続けていこうと思える市になるように、どうか大切な物を潰していったり、違う機能を持つ施設を統合してしまう事をストップして下さい！</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>

ご意見	検討結果
<p>公共施設の移転に反対します。平地に建てられていた施設は市民、特に高齢者の方や足の不自由な方にとって行きやすい場です。ですが、全ての建物を一か所に集中してしまう故に、市民全員が行くことは困難になり得ます。市民の憩いの場を私達から奪わないで下さい。移転に断固反対します。住民の声を聞き真摯に受けとめて市政を遂行して下さい。市長殿、議員の方々に訴えます。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>みんなの意見を聞けばいいと思います。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>まちづくりは、市民中心に決めてもらいたいです。皆が、集まり易く、文化交流の場が、現状の便利な所がこわされて、非常に不便な所に移されるとか信じ難いことです。そういうことは、公報で、もっとしっかり市民に知らされるべきで、気がつけば無くなってしまう事のないよう、もっと市民の立場に立った方針を求めます。暮らし難いと、市民がもっと減っていくでしょう。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>移転の理由を詳しく説明して欲しい。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>1.公共施設総合管理計画では今後40年間で公共施設の延べ床面積約21%削減することになっているが、保有施設全体の50%以上が学校施設となっており学校施設を再編対象外とした場合、目標の21%削減するためには、学校施設以外で多数の施設を再編しなければ達成できないことになる。今回の再編で約5%削減は示されているが、以降の具体的な削減計画を示し、それについても市民に意見を求める必要があるのではないか。(この説明だけでは説明不足) 2.今後の人口減少や税収減少を想定した場合、今の施設をすべて維持して行くことは、現実的にあり得ないため、稼働率の低い公民館などは積極的に再編整備を行うべき。また、これまでの柏原地区、国分地区の概念を捨て市域全体を見据え再編を進めていくことが必要である。 3.再編後のまちの将来像や事業効果などの検討を行い、次世代にツケを残さないことをもっとしっかり検討し、アピールする必要がある。反発を恐れ先送りせずに進めるべき。 4.サンヒル柏原が「負の遺産」とならないように、多世代交流施設として有効活用することは、理解できる。併せてサンヒルの眺望の良さなどポテンシャルを活かしたうえでアクセス強化と施設の充実(カフェ等の設置)を民間と連携し、サンヒル再生に向けた取り組みを進めて行くべき。 5.再編整備には財源確保が急務である。そのため、今行っている事業の見直し、補助金確保などで財源を確保するしかない。すべてを市民負担にするのではなく議員定数の削減を行い財源にすることも必要。議員定数削減を選挙公約に挙げていた議員がいたが、どうなっているのか。 6.柏原市の未来のために、市長の即断・即決を求める。そしてスピード感をもって再編整備に取り組んでほしい。</p>	<p>1.「柏原市公共施設等総合管理計画」で目標としている削減計画につきましては、今後も引く続き目標達成に向け、様々な検討をしていきます。 2.いただきました内容は、ご意見として承ります。 3.いただきました内容は、今後の検討といたします。 4.パブリックコメント等の結果を踏まえ、屋内での子どもの遊びや学びの場、高齢者の方の趣味・憩いの場など、様々な用途で活用ができる場を提供することにより、遊びや学びを通じて多世代が交流することができる「市民交流センター」として活用する計画(案)となりました。なお、サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 5.いただきました内容は、ご意見として承ります。 6.いただきました内容は、今後の検討といたします。</p>
<p>・市内循環バスは土日祝日は休まれているようですが、サンヒル柏原へ移す施設に市民の足の確保はされていますか。 ・移した後の元の建て物はその後どうされるのですか。 ・今現在使用されてる方々の意見は聞かれたのでしょうか。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・元の建物につきましては、除却を予定しています。 ・施設利用者アンケートにおきまして、ご意見を聴取いたしました。</p>
<p>今まで仕事が終わって身近に行けていましたが遠くなって参加出来なくなります。交通の便が良い所がいいです。子供達、高齢者の方が利用できる便利な所をお願い致します。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>・図書館や公民館、学校や保育所ほか、市民が利用する施設は、徒歩、自転車などで通える場所に数多くある方がいいものです。集約化という方針そのものが、マチガイです。</p> <p>・柏原市は人口が減り続けています。若い現役世代に転居してもらおうとするなら、子育て、教育環境を良くするとともに音楽美術、スポーツ、学習など文化あふれる都市でなくては、魅力がありません。</p> <p>・文化センターなど老朽化した施設の建替えなら理解できます。今ある場所に図書館と、音楽室や、視聴覚室など(できれば小さなホールも)備えた施設を建ててください。</p> <p>・図書館は、国分と柏原に1つずつあればいいというものではありません。子どもから高齢者まで歩いて利用することを考えれば、もっと数多く必要です。小さくて良いので増設をお願いします。(柏原中の資料が検索できるので、図書館どうして貸し借りすればいいので)</p> <p>・大体、こういう乳幼児から高齢者まで、市民の生活にかかわることは、公報で広く、ザッと見ても目につくようにレイアウトして、まず知らせるのが大事だと思います。</p> <p>公報をみても具体的なことは何も書かれていません。4/13にスマホやパソコンでやっと内容がわかり、驚きました。こんなやり方では、市民に広く知らせ、意見をきこうという姿勢が感じられません。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>高齢者や子供にとっては、安堂駅からサンヒル柏原までの坂道は半端なくキツイものです。サンヒル柏原への移転は中止して下さい。今の図書館は駅に近く幼稚園や小学校も側にあり治安もよく安心して利用出来ます。リビエールは交通量も多く子供一人では危険です。文化センターが老朽化しているのは分かります。それなら同じ場所に図書館等、今と同じように新たに建ててください。</p> <p>この移転計画は、市民の利便性や移転後の使い勝手等何も考えていないと思います。市民目線が抜けているとしか思えません。</p> <p>私たちは新築を望んでいるではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考をお願いします。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p> <p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>

ご意見	検討結果
<p>再編整備は社会情勢等のその時代に合わせて行うべきものであり、今回の再編整備という考えには異議はありません。再編整備をする時には、10年、20年先のことも見据えて計画することも必要だと思います。社会全体で子育てを応援しよう、高齢者は介護が必要になっても地域社会で自立した生活を送ることができるようにと制度化されて、時代は変わってきています。柏原市の街中をみると、ベビーカーを押したお母さんが移動するのに苦労されているところを見かけることがあります。小銭の計算が出来ない高齢者がスーパーの店員のサポートを受けて精算しているところを見かけたこともあります。高齢者や小さなお子さん等が街中でいろいろなことで苦労されていることが見かけます。私は電動車椅子に乗る身体障害者です。身体障害者にもいろいろな問題があります。市役所本庁舎まで相談、申請に行くことは体力も時間もかかります。市役所は私たちの身近な相談先です。これから子育てや高齢者等の相談をしたいと考える人が増えることは様々な資料、論文等からも予測はできます。今後、柏原市においてその相談先が柏原駅周辺、国分駅周辺に住む市民からは離れた市役所本庁舎、サンヒルになると、ますます相談することは敷居が高くなるように感じます。電話すればよいのでは、簡単に市役所にいけるのでは、相談したくても様々な事情で大和川のある市役所本庁舎まで相談に行けない人はたくさんいる、これからの人口指数からも困る人が増えてくることは確実だと思います。基本計画素案にはその点の配慮として循環バスの利用を挙げられていますが、循環バスは誰でも自由に乗車できるノンステップバスではない、本数は少ない。車椅子利用者は前日までに予約しないといけない。杖をついてもゆっくりしか歩けない人、ベビーカーを押す人、押し車を押す高齢者など様々な人が利用したいはず。急ぎで市役所に相談したい人もいてははずです。配慮の点は一部のみにしか利点はないようにも感じます。各部署の中核としてこの再編整備として、合わせて、柏原駅周辺と国分駅周辺にも相談しやすい窓口施設を再編整備のひとつとして考えていただきたいです。窓口でしか対面でしか相談できない人はたくさんいてははずです。包括支援センターへの相談が今後増えてくることは目に見えています。柏原駅周辺に国分駅周辺にも包括支援センター、子育て、高齢、障害者の福祉の相談窓口開設をお願いいたします。</p>	<p>・いただきました内容は、今後の検討いたします。</p>
<p>平地が少ない地域の中でサンヒル柏原へ集約されている再編プランを見ると、果たして、市民の動線は、確保されているのでしょうか。毎月毎月、人口の減少を見ると、心配になることが多々あります。大阪府の他市etcで図書館と公民館の複合施設誕生等の記事を読むと、縮小されていく本市の施策に不安を感じます。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>
<p>高齢者ですので場所が変わればやめなくてはなりません 素案の内サンヒルは無くした方が良くと思うがそれ以外の施設は現在の場所での存続をして頂いた方が便利で行き良いです</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。 ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>公共施設は、地域住民の利便性を重要視すべきと思いますが、案では、堅下地区の住民の利便性は軽視されています。 サンヒル柏原は、建築年はいつなのでしょう。かなりそちらも老朽化していると思われます。それなのに、不便な坂の上に、リニューアルして、どのくらいの人が利用できるのでしょうか。車のない人は、利用できません。 オアシスは、まだ建築年も浅く、もうしばらくは、活用できるのではないですか。どの地域(地区)も公平に、どの年代も公平な町づくりを進めてください。</p>	<p>・サンヒル柏原は1988年築で活用に際し改修工事費用は必要となりますが、構造的には新耐震基準の建物です。 サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 また、オアシスの立地する土地は借地であり、厳しい財政状況にある中で今後の安定的な施設運営を図るため、市が所有する施設への移転を行うこととしました。</p>
<p>夫は足が不自由ですので今の場所をお願いします。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>柏原市公共施設等再編整備基本計画についての意見を申し上げます。3つの案のうち、第3案に定められたことに反対します。特に図書館のリビエールホールへの移設についてです。図書館は、現在の場所のままでリニューアルをしてほしいです。私自身、現図書館の近くに住んでおり、子どもがよく図書館および敷地内の公園を利用している、という最層目もあって、この場所から図書館がなくなるのはとても残念であります。そして、残念以上に、現図書館の好立地を市がみすみす手放すことが実に勿体ないなあと思います。市民の財産としてのこの地は、柏原市の文化の発祥地として、歴史があります。近鉄地下駅とJR柏原駅(近鉄柏原駅)の中間地にあるという利便性は、活かし方によって、市民だけでなく、市外からの流入に大きく貢献するはずで、再編整備という大きな計画をうちたてるのであれば、地域の活性化、人口の流入のきっかけとなるものにしてほしいです。第3の案に決まった最大の理由は「低コスト重視」であると思われる。もちろん市の財政を考えると妥当であり、106頁の計画案は説得力がありますが、その案に希望というか、将来に対する楽しみがないような印象を持ちます。私が図書館にこだわる最大の理由は、今回の対象施設のなかで、唯一老若男女すべての世代が利用するものであること、図書館の活用次第で柏原市の文化レベルを向上するきっかけ(「新しくなったから、行ってみようか」とか、「あの市の図書館には〇〇があるから電車に乗って行ってみようか」というような風潮)にする好機になりうるものであること、です。日本中でリアルな書店が消滅し続けているなかで、宮脇書店が5月に閉店し、とうとう柏原市内の書店は国分のライフの4Fのみ、になってしまいました。柏原市役所を挟んで国分エリアは国分図書館、柏原エリアは柏原図書館が文化の拠点を担ってバランスをとっていたはずで(柏原図書館はさすがに古いので、いつかリニューアルするのかなあと思っていました)。リビエールホールは市役所と同じ場所なので、もし柏原図書館がリビエールホールに移転すると、柏原エリアには文化の拠点がなくなってしまう。ついでにいうと国分エリアには大阪教育大学と関西福祉科学大がありますが、柏原エリアにはありません。書店もなく、図書館もなく、教育機関(大学高校)もないエリアは、文化的に死んでいる、ということになります。リビエールホールが行きやすい場所だと思うのは、市役所に通う人の発想です。市役所やリビエールホールは、そこに行く目的があるときに行く場所であって、ふだん気軽に立ち寄りるところではありません。たとえば幼稚園児や小学生低学年が一人で通えるところではありません。規模は小さくなくても、柏原図書館をリニューアルし、こちらのエリアに文化の中心地を作ってほしいです。それを核として同敷地に複数の商業施設(飲食等)を招致し賃料をとる、図書館に目玉となるブース(例えば他市にはあまりないマンガがたくさん置いてある図書館、とか)で市外からの若者呼びこむとか、採算が採れるのはどうすればいいのか、というアイデアを大々的に(柏原市内外に)募集するとかして、なにができるかな、という楽しみを逆に創ってほしいです。第3案のリビエールに移動、にしてもコストはかかります。リビエールに移動することが、地域が活性化することにつながるのか、経済効果が新たに生まれるのか、柏原エリアの文化的存在をなくすこと以上に柏原市民にとって良いこととなるのか、疑問です。以上です。よろしく願い申し上げます。5月12日までということで、今送信しますが、受理していただけるのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。また、パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。
<p>すごく高齢者には大変になると思うのもう少し考えてもらいたい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>サンヒルを有効利用する考えなら、大阪市のようにオンデマンドバスが必要ではないでしょうか。私は自転車を使用しますが、サンヒルまでの坂はとてきつく安堂方面からは高井田までの抜け道になってとても危険です。まずはサンヒルを有効利用することは現用各施設を利用の方の年齢層をもう一度調査する必要があると思います。両駅に近い現図書館を建て替え、他市からの利用も見込める総合施設にする事が最善ではないでしょうか。サンヒルを完全廃止できない理由を公表されたし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。

(別添資料)寄せられたご意見と検討結果

ご意見	検討結果
<p>柏原市公共施設等再編整備基本計画(案)が言うように、市の財政事情、将来人口の見通し(人口減少及び生産年齢人口の減少)、建築後多年を経過した施設の建て替えや大規模改修、耐震性の確保に多額の経費がかかること、その利用状況等については十分考えねばならないことだと思います。しかし、今回の再編計画については、もう少し慎重に工夫されるべきと思われることがあります。以下列挙します。「柏原市公共施設等再編整備基本計画(案)」は以下「計画」とします。</p> <p>1) 柏原図書館のリビエールホールへの移転については、計画の言う『都市拠点』として位置づけられた柏原駅から市役所にかけては、その利便性の高さのまさに中心にある位置から周辺部へ移動させることにより、ことに小中学生による利用の利便性やモチベーションを低下させることになると考えられます。計画から図書館(公民館)までの交通手段を見てみると、個人利用で徒歩31%、自転車47%とほぼ8割を占めており、移動距離の増大が大きな影響を与えることは明らかです。まして、2023年5月24日に宮脇書店の閉店が決まっており柏原から唯一の書店が消え、文化の発信拠点としての図書館が柏原地区中央から消えてしまうことは、市の諸事情を考慮してもなんとしても避けられなければならないと思われる。さらに、国分地区には国分図書館があり、公平性の観点からも柏原地区住民への配慮が必要です。この計画を知った市民の口から「文化不毛の地になってしまふ」という言葉が思わずもれたのを聞きましたが、計画の再検討が必要だと思われます。</p> <p>2) 公民館堅下分館のサンヒル柏原への機能移動について 公民館堅下分館は、俳句や詩吟の会、音楽サークルなどの活動の場として、あるいは様々な学習会や文化財団の会議の場として活用されてきました。その機能がサンヒル柏原に移転されるのですが、利用団体の年齢構成が比較的高齢域に集中していることが、計画で示されています。また、堅下分館への交通手段は、徒歩18%、自転車34%で半数以上を占め、自分で運転する自動車が21%となっています。会議室の稼働率を見てみると、平日の会議室(含む小会議室)が午後13時~17時で24~47%、18時~22時で35%~44%となっています。つまり、比較的高齢の方が、夏の猛暑の午後、あるいは冬の寒風吹きすさぶ真つ暗な夜に、あの坂道を徒歩や自転車を押してサンヒルに向かうのです。計画には「高齢者の増加に伴う公共施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化など、住民の誰もが安全・安心に公共施設を利用するためのハード面ソフト面でのリニューアルも求められます。」とあります。しかし、その施設にたどり着くまでに多大なエネルギーを使わなければならない、場合によっては体調とも相談しなければ行けないなどとなったら、「住民の誰もが安全・安心に公共施設を利用」などとは言えないのではないのでしょうか。市民アンケートから「再編により施設数が少なくなることで、利用したい施設までに移動距離・時間が長くなること」もある程度受け入れることもやむを得ないと思う人がほぼ5割となっていますが、上記のことがはたして甘受すべきことなのでしょうか。また、図書館以外、各施設の利用頻度が低いことが強調されていますが、今回の再編でそれがさらに加速されることが容易に予想されますが、それでいいのでしょうか。再考して下さい。</p> <p>3) サンヒル柏原は、計画にあるように、もともと「健康保養センター(かんぼの館)」として建てられた宿泊施設です。ですから、市の中心部から少し離れた眺望の良い高台に建設されています。地域の方、あるいは他地域の方が健康増進、保養のために、一時の安らぎを求めて利用する保養宿泊施設で、地域住民が日常的に利用するような施設ではありません。もちろん既存の施設、遊休施設(計画はサンヒル柏原のことをそう表現しています)を有効活用することはとても大切なことです。市の財政事情や人口動態等についてきちんと判断を下すことも重要です。しかし、今回の場合は、設置の目的が異なり、市の中心部から離れた高台にあるというサンヒル柏原の立地条件を無視し、本来備えていない公民館としての機能を発揮させようとするところに、根本的な矛盾があるのではないのでしょうか。政府が異次元の少子化対策を打ち出そうと言うときに、こんなにも文化を、子どもたちを大切にしないような施策を打てば、人口減少、ことに若い世代の減少が加速されることが容易に想像されます。再考して下さい。</p> <p>4) どうしても公民館本館や堅下分館、柏原図書館等の機能を統合しなければならないのならば、市民文化センター、もしくはハローワークを改修あるいは施設の新設をし、発展的に機能集約をして下さい。柏原地区から文化拠点が失われることを避けるべきです。市の財政事情、人口動態等を考慮しても、ここはむしろ利便性を、文化的資質を高める方向での機能集約を考える方が合理的です。「優れた文化都市機能とゆたかな自然環境を兼ね備えたまち柏原」を積極的に打ち出し、新しい若い世代の流入、定着を図るべきだと考えます。明石市の取り組みをみれば、決して不可能なことではないでしょう。今回の計画は、一時の利益を市にもたらすかもしれませんが、長期的には、衰退の道とならざるを得ません。</p> <p>5) 今回の計画について、市民への周知が全く不足していると思います。例えば今回のパブリックコメント募集については、4,5月の広報に掲載されていますが、周知の方法としてどのような努力をされたのでしょうか。多くの市民が、パブリックコメント募集はもちろん、このような計画があることすら知らないというのが実体だと思います。パブリックコメント募集についても、例えば3,4,5月号の広報の表紙8割を使って募集をするなどすれば、もっと市民の知るところとなったはずですが、あるいは防災無線を使って広報する。市庁舎、公民館本館、分館、オアシスなどに募集のたれ幕を設置するなど、その方法はいくらかでも考えることができたはずですが、市民の声を聞くということに対する市の本気度がどれくらいあったのでしょうか。残念ながら少々懸念を持ってしまうのは私だけではないと思います。今後、この計画の推移について、市民に対ししっかりと報せる、周知していただきたいと思っています。「この計画、市長知っているんですか」市長に対して大きな期待を抱いていた柏原市民の言葉です。ぜひ、慎重にご検討いただきますようお願い申し上げます。ありがとうございます。</p>	<p>1. 柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。また、パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p> <p>2. パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>3. サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p> <p>4. 人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>5. いただきました内容は、今後の検討といたします。</p>
<p>老朽化をしているなら同じ場所に建て直しをしてほしい。高齢者等にとっては不便。市民の使い勝手を考えてほしい。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>
<p>計画(案)について、市民目線で考えられた事はありますか。わざわざ交通便の悪い場所に移転させるメリットはなんなのでしょうか。文化センターが老朽化しているのはわかりますが、建替えるという事はできないのでしょうか、あれだけ大きな市役所を建てられたんです。お金無いかありますか？もっと市民の声を聞いてから決めてもらって良いですか。メリット、デメリット、何故そうなったのか、市民にしっかりと届けて声聞いてから決定してもらえます？利用するのは市民です。それでも、各それぞれに移転させるのであれば、バスなどの交通機関の整備を強く望みます。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>交通の便がとても不便ですね。市民にもっと意見も聞いて欲しい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>足が悪いので行きやすいリビエールホールに集めてほしい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>クリーンピア21といい、勝手なことをしないで下さい。こんなことをしていたら、柏原市から若い人はいなくなるでしょう。高齢者も外出しにくくなり、フレイル→寝たきりになるのは、目に見えています。そうなれば、柏原市が面倒みてくれますか？大人ですから、責任の取れることを約束して下さい。勝手な移転計画に大反対です。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>私はサンヒル柏原へ全て移転するのは反対です。街から文化がなくなる気がします。市民の利便性を考えて下さい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
文化センター(図書館)の跡地利用について、売却するのではなく、土地全体を市民(特に子ども)が遊ぶことのできる公園への転用を希望します。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
不便になる	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、図書館等、子供、老人の人が使用する施設は行きやすい場所にあつて当然、今の場所にあるのが交通便もよく使用し易いのではなからうか。 ・市役所も、電車で行くのに遠くなっておりバスの便も悪い。堅下合同会館は今でもバス停留所が近くないのに尚も遠く便利が悪くなり、都会から田舎になってゆく様な柏原であり、観光事業の推進と云いながら宿泊施設等どんどんなくなってきており、もう少し老人達のことも考えてほしい。 	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
この移転計画は市民の利便性や移転した後転した後の使い勝手など何も考えていないと思います。市民目線が抜けています。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
<p>市民が利用し易い場所に、公共施設はあるべきと考える。 市街地に公共施設を集中させコンパクトシティを目指すべきでは？ 柏原市の目指す街づくりとは、どの様なものか？市民主体の街づくりを考えた場合サンヒルを活用する構想には疑問が残る。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
柏原市で色々な行事があつた場所が移転？老朽化の為、移転先も現代の場所と変らぬ年数が経てるように思う何故。高齢者が楽に行ける場所にすべき、市の一存で計画を立てるなんて、市民の声も聞くべきだと思う。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
施設移転反対です。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
利便性や移転後の使い勝手など、考えているのですか？もっとしっかり説明して市民の利用に不便のないよう宜しく！！	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
文化センターなどの市民の財産を守って下さい。	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>

ご意見	検討結果
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています、一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>サンヒル柏原に集約と聞いておりましたが、文化センター建て替えに伴う一時的なものと思っていました。サンヒル柏原に機能移転となれば、交通の便が悪く、体力的に通える自信がありません。バス等を増便したとしても不便このうえないことには変わりはありません。これまで生涯学習として参加してきましたが、そうなれば、参加を見送らざるを得なくなります。それは、学習の場所を奪われる行為で、残念でなりません。</p> <p>私たちは新築を望んでいるわけではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方だけではなく、それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています、一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>サンヒル柏原に機能移転となれば、交通の便が悪く、体力的に通える自信がありません。バス等を増便したとしても不便このうえないことには変わりはありません。これまで生涯学習として参加してきましたが、そうなれば、参加を見送らざるを得なくなります。それは、学習の場所を奪われる行為で、残念でなりません。</p> <p>私たちは新築を望んでいるわけではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>市民のための市政といつもいつてるのではないか。山の上の坂道の多いところに建ててまた空っぽで使えないものにするのか！サンヒルは何をしてもつぶれてる場所ではないか！</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>交通の便が悪い。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>公共施設の老朽化、陳腐化、耐震診断耐震改修が未実施の公共施設は早急な対策が必要と書かれていますが、削減する公共施設として、柏原市民文化センター堅下合同会館やすらぎの園オアシスをあげその場所をどうするのか書かれていません。今までの場所でもっともっと充実した文化福祉・健康対策をしてください。 公共施設の土地を売り払うことはやめてください。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>①前提として、「まちづくり」条例に基づく再編整備にあたり、委員になぜ市民・住民の代表が参加しないのでしょうか。市民自身が自らのまちづくりを考え、造る上で専門家を交えて力を出し合うのは理解できますが、基本的な考え方の時点で住民との合意形成をなされているか。また、住民の意思に基づくまちづくりを進めようとしているのか不安をおぼえます。 ②個々の施設は、良くも悪くも従来のまちの中で多くの利用者に支えられて運営されてきています。素案づくりにあたり、個々の施設についてどれだけ市民の声、要望をきかれたのでしょうか。具体的な声を委員の一人一人が直接聞かれたのでしょうか。 ③施設の老朽化は利用者の安全の確保対策が必要です。建て替えも含め当然です。現施設の改装、建て替えのコストは、具体的にどのように設計、試算されたのでしょうか。お示してください。 ④今回は「柏原」の地域の施設が中心になっている様に見受けられます。「まちづくり」を考える時、人々の行動の動線は大切な要素と考えます。移転先は各々市の中心部(これをどこに設立するか計画では判然としません)、交通との流れからみると外辺部に移され、市役所附近にもってこうとする施設もあるものの、住民の集中する地域から外への移設が多いように見受けられます。市民の人々の流れをともなう施設配置、連携等々をどのように検討されたのでしょうか。現在、文化センターは会議室や図書館が併設され、それをもとにした活動も行われています。個別の市民の実態をどのように検討されたのでしょうか。交通の利便性の良さも活動の基本です。総合的な機能を生かした文化センターを現在の場所での建て替え、充実を求めます。 ⑤老人福祉センターは、巡回バスも充実しており、一人暮らしの方も含め、交流と憩いの場となっています。大浴場の利用が老朽化によってできなくなり、再開を望む声も少なくありません。施設が古くなり、修理せず利用者が減る、この何もしないことでの悪循環は繰り返さないで下さい。各施設再編にともなう巡回バスや利用料、その他の市民サービスの全体構想も示されない計画に対して不安をおぼえます。全体像を示してください。利用しづらくなり、利用者が減ってしまった。それは、行政側に責任の多くがあります。「利用が少ないから」だけではなく、利用者が参加して内容も含め、良くしていける手法を取り入れられることを求めます。 ⑥老人福祉センターは、その立地が古墳の上であり、文化的にも、周辺の環境的にも大切な場所です。安易な売却や開発はやめて下さい。野鳥や生物にとっても残り少ない環境が周辺にあることも検討してください。 ⑦「公」は時にコストのみ(単体としての)では計れないものを含みます。高齢化の中、青年も若い人も安心して住み、利用できる施設の配置を総合的に検討されることを求めます。高齢者が出掛ける、人の交流が確保できる、異なる年齢層の交流が自然に可能となるまちづくりにさらなる尽力を。今後の具体的な進め方をお示ください。 ⑧最後に建物のバラ色の絵も大切ですが、一つ一つの施設がその内容を住民の求めるものに相応しくなるよう「まちづくり」の細かな懇談や、意見交換の場を設けて下さい。</p>	<p>①いただきました内容は、ご意見として承ります。 ②市民意向調査、利用者(団体及び個人)アンケートの結果を委員に提示しています。 ③コスト試算等については、柏原市公共施設等再編整備基本計画(案)の参考資料「2.再編整備パターン(案)の検討結果」をご参照ください。 ④人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。なお、パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ⑤～⑧いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>現状の施設は、どこも立地条件が良好であるので、子ども達にも文化・教養にも大切な場所になっています。サンヒル等の使用は、不便であり、絶対に反対です。もっと市民の声を反映して、建て替えをして、納得のいく方法を考えるべきです。歴史の街、住み良い街柏原へ！！</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>パブリックコメント募業(広報5月号12ページ)を見ました。公共施設等……計画案を読んで図書館がリビエールの地下に、合同会館がサンヒル柏原へ移転されることを知ることはできません。市民の声を聞くという体制だけで、私たち市民の理解ができるように配慮されていません。図書館を地下へ公民館等はサンヒル柏原へ!!なんて!!あの山の上へ行けるのは車とバイクだけでしょ。今ある一等地にこそ市民のための公共施設を建てて下さい。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>

ご意見	検討結果
<p>昨年度の都市計画案を拝見するとJR柏原駅東口活性化を聞きワクワクしていました。ところが一方で図書館をリビエールホール移転、文化センター、オアシス等を柏原大食堂撤退に伴いサンヒル柏原に収束するというのは超高齢化社会の中で国は駅前に公共施設を集約しコンパクトシティとして利便性、市民に優しい施策を推進しています。またJR柏原駅東口の活性化の為に断固反対致します。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>この移転計画は、市民の利便性や移転した後の使い勝手など何も考えていないと思います。市民目線が抜けていると思う。</p> <p>柏原駅東側のまちづくりをどの様に考えているか？ ハローワークも移転し、今回文化センターを取り壊し、公共施設が無くなって、人のにぎわい、活性化をどう考えるか？ 市民文化の拠点はこの地に置いた、先人達の思い、期待を裏切る行為であるのでは？</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>上記計画の第3章、方向性の項で、「利便性を著しく悪化させないよう、施設の利用しやすさに配慮した計画とする」とあるのに、市役所等へ施設を集約するのは正反対の動きではないか。図書館は中心部にあるので、利便性に優れているし、堅下合同会館も利便性に優れているし、利用頻度も高い。つぶすのは反対である。</p> <p>対応方針⑤跡地の有効活用で、売却による財源化とあるが、永年かかって積み上げてきた市民の財産を売り飛ばし、業者を儲けさせるのは、もってのほか。クリーンピア21をつぶし、図書館をつぶし、文化センターをつぶす。こんなやり方は反対だ。</p> <p>施設の利用人数等の表があるが、R2年3年の人数が減っているのはコロナで利用を制限したからだ、ことさら利用が減ったようにみせている。市としても公共施設の利用を増やすよう、努力すべきだ。維持費は公共サービスである以上、当然必要経費である。維持費が掛かるからといって、つぶして、売却するとは、本末転倒である。市役所やサンヒルに集約しても利用者は増えない。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>・今ある公共施設の老朽化を建替えの考えをほとんどなくして、会議室機能の多くをサンヒル柏原にしています。サンヒルの立地は自動車等の乗り物がない者は、行くのが困難な場所です。これでは、今まで柏原で培ってきた文化や趣味、教養、運動、話し合い等の活動を継続させることは困難になるのは必至です。</p> <p>・整備計画表には、市民や施設利用登録団体からアンケートをとって来たとの記述があり、公民館堅下分館では「調査票配布団体数が22団体となっているが、私達にはアンケートが来ていません。また、他の団体の知り合いに聞いても、知らないと答えが帰ってきています。登録団体は何団体あり、調査票を配布した団体をどのように選んだのか聞かせて欲しい。他の施設でも、この点を明らかにして欲しい。</p> <p>・パブコメを行っているが、他の人に聞いても、パブコメも今回の計画も知らないという人ばかりです。こんな、大事な事柄について、もっと市民に知らせる努力が全くされていない。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・いただきました内容は、今後の検討といたします。</p>

(別添資料)寄せられたご意見と検討結果

ご意見	検討結果
<p>①サンヒル柏原への移転計画は、徒歩、自転車利用等交通手段及び接続道路、高低差等立地面で、絶対反対、中止すべきである。理由 高齢者を切り捨てるものであり、高台にあり、バスの増便等で十分な対応不可能で、夜間の対応は、どうするのか？</p> <p>②柏原図書館、公民館本館のある建物は、高層階で建替え、駐車場も十分確保し、文化施設の中心拠点、防災対応施設とすべきである。跡地売却等は、もってのほかである。※売却は、サンヒル柏原を旅館業や福祉施設関係者へ。</p> <p>③移転先は、高齢化社会に対応できるよう徒歩、自転車利用を中心に、幼稚園等廃園施設跡地の活用し、町の中心部で、買物ついでに、何時でも気軽に利用できる場所を検討すべきである。</p> <p>④オアシス等借地の土地は、返還も必要と考える。</p> <p>⑤市内循環バスは、市内全域をカバーし、各停留所で定時発着にして、市民の足として利用できるようすべきで、一日数便では利用し辛い。例えば、国道25号線西側、本郷、大正地区には、停留所すらなし。</p>	<p>①サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p> <p>②人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>③いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>④オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p> <p>⑤いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>何かと不便。町が淋しくなる。</p> <p>「柏原市公共施設等総合管理計画(平成29年3月)」(以下、「総合管理計画」という。)、 「柏原市公共施設の基本デザイン(案)(平成29年3月)」(以下、「基本デザイン(案)」という。)を拝見しました。特に「基本デザイン(案)」の立地特性評価を考慮に入れている点が単純に“市全域”のどこかにはある施設ではなく、“地域”の拠点を大切に考えていることに好感を持ちました。その上で旧耐震の施設の耐震化を進め、既存施設の活用と不要施設(合同会館や駐輪場等)の撤去を進めることを検討していました。</p> <p>また、「柏原市都市計画マスタープラン」(以下、「マスタープラン」という。)では、既存ストックへの対応(52頁)として「各公共施設の必要性や優位性を総合的に検証し、中心市街地の既存ストックの有効活用によるコンパクトシティの形成に取り組む」とし、都市づくりの主要課題(54頁)として、中心市街地の活性化、地域の拠点性の維持・確保、既存ストックの有効活用、既存建築物の耐震化の促進等が挙げられています。</p> <p>しかし、上記計画に関連する上位計画と位置付けた今回の「柏原市公共施設等再編整備基本計画」(以下、「本計画」という。)では、旧耐震の施設の耐震化ではなく、旧耐震の施設の除却を前提とした再編整備パターン(案-3)を採用しています。「総合管理計画」に示す延床面積21.3%削減の数値目標を達成するためであることが知実表れた旧耐震の施設の撤去、それにより先の諸計画で活用するとされていた“既存ストック”はなくなり、「本計画」内では有効活用する“既存ストック”とは最初からリビエールホール及びサンヒル柏原のように語られ、置き換えが行われている。意見としては、以下の点を挙げます。</p> <p>①堅下、柏原駅から市役所までを都市拠点と言いながら、なぜその端にあたるリビエールホールに図書館を、市役所に健康福祉センターを持ってくるのか。都市拠点から離れた市域の端の(現)勤労者センターに地域福祉センターを持ってくるのか。</p> <p>私は法善寺在住で、最寄り駅は法善寺、堅下、柏原です。徒歩と自転車が主な交通手段のため坂を上らないといけないリビエールホール、市役所、サンヒル柏原等は生活圏からかけ離れ、堅下地区(旧地域区分)の北西の住民からしたら非常に不便になります。</p> <p>②貸館機能のサンヒル柏原への集約について、地域区分としては柏原地域の中で完結していますが、「基本デザイン(案)」の立地特性評価にあった、近接性を考慮として、柏原地区の全ての貸館機能移転は再検討を要求します。</p> <p>③貸館機能移転が避けられないのであれば、それに代わる寄合の場として、「マスタープラン」にある「専用住宅地」の空き家活用(61頁)について「近隣コミュニティの共有スペースとして利用できるようにするなど、地域住民がゆとりある暮らしを続けていけるような工夫」を行い、空き家の利用体系を確立するなどの対策を講じてください。</p> <p>④都市拠点はほぼ中央に位置していた図書館をリビエールホールに統合するのは、「本計画」土地利用図(10頁)には則しているが将来都市構造図(9頁)には反しているように思われる。また、公民館の貸館機能をサンヒル柏原に集約するのは、双方に反し、交通手段がバス、自家用車に限定される者が増えることから、コンパクトシティの概念からも反すると考える。</p> <p>⑤延床面積21.3%削減の目標は、「総合管理計画」における40年後の総人口が21.3%減少すると想定していることからきています。</p> <p>「本計画」では、柏原地区の等に堅下駅、柏原駅以北の住人への負担が際立ちますが、柏原市の中でも特に、柏原地区が40年後、人口が21.3%減少の大部分を占めるため、柏原地区住民には不便となるが、地区の施設の統廃合を行うとどうして良いのでしょうか。違うのであれば、せめて国分分館、高井田の駐輪場なども統廃合の対象としてください。納得いきません。</p> <p>⑥「本計画」の再編整備パターン(案)の検討結果(85頁～)を見ると、生活圏であること、2062年までの40年間を通して採用された(案-3)と歳出試算が3,800千円しか変わらないこと、一施設に機能集約されることで利便性が向上することから、再編整備パターン(案-1)私見としてはベターです。</p> <p>この考えは、市の、ひいては市民の財産を減らし(売却して)、一時的な収益で市財政が向上したかのように見せることに違和感があるためでもあります。</p> <p>⑦「本計画」にある大和川河川空間オープン化(92頁)とは何か。</p> <p>⑧アクセスバリアの問題では、老人福祉センターのみ国分地区の施設であり、(案-1)から(案-3)に至るまで不便になるのは当然の結果です。</p> <p>(案-1)の問題点は健康福祉センターを閉鎖することです。「基本デザイン(案)」では健康福祉センターを維持し、低迷した利用率解消として堅下合同会館を市民文化センターに統合、市民文化センターの耐震改修を検討するよう提言していました。</p> <p>この場合、合同会館は売却されることになると考えますが、この場合の試算(歳出-歳入)及び、その他「基本デザイン(案)」を実現した場合の試算を挙げてください。</p> <p>⑨そもそも、サンヒル柏原の活用方法は、大規模改修して柏原市の複合施設にするしかないのか。売却した場合の試算はあるのか。あるのであれば、(案-1)の試算額に変更が出る。または、利活用の方法として、柏原市だけでなく大阪府下の市町村の福利厚生施設とするなど、各市町村の遊休施設や利用率は低いが広域性のある施設を総合的に管理・運営する一部事務組合のような団体は作ることができないのか。</p> <p>以下、結論です。</p> <p>「本計画」の前提である“旧耐震の施設の除却”の考えに至った経緯が示されていないため、私見としては「基本デザイン(案)」が最良と考えてしまいます。そのため、現時点では比較検討ができず、「本計画」への賛同は致しかねます。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>①柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p> <p>・保健センターの移転先につきましては、検診用バスの駐車、給電設備等が必要となるため、市役所別館への移転となります。</p> <p>②パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p> <p>・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p> <p>③いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>④上記①②のとおりです。</p> <p>⑤「柏原市公共施設等総合管理計画」で目標としている削減計画につきましては、今後も引く続き目標達成に向け、様々な検討をしていきます。</p> <p>⑥ご意見として承ります。(※なお、歳出試算の単位につきましては、百万円となっています。)</p> <p>⑦大和川河川敷公園を市民にとつての憩いの場所とし、地域活性化の核とするため、都市・地域再生等利用区域の認可(河川空間のオープン化)に向けた市の取組です(素案P11参照)。</p> <p>⑧公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。</p> <p>⑨サンヒル柏原の売却試算はございません。</p>

ご意見	検討結果
<p>柏原市民文化センター・旧ハローワークについて今回の素案は、市民目線の計画であるとは、とても考えられません。今まで便利で使いやすい市民が集まりやすい場所にあった公共施設が、今後建て替えが必要であるという理由で、必要な公共施設を無くしてしまい、市民が現在よりも、使いにくい・行きにくい・利用しにくい場所に移動させようとしていると感じました。これでは、柏原市が活性化されず、言葉は悪いのですが、柏原市が衰退していくのではないかと心配になりました。町づくりを考える時、私たちは、市民に優しい町、市民が住みたくなる町、子や孫が将来住み続けたい町、高齢になっても住みやすい町になることを望みます。しかし、今回の素案は、市民に優しくない町、市民が住みたくない町、子や孫が将来住みたくない町、高齢になったら住みにくい町になっていると感じました。柏原市の「都市計画マスタープラン」では、都市拠点である柏原駅東口周辺は「その利便性の高さや既存ストックを最大限に活用しつつ機能強化・再整備を図ります。」という位置付けにもかかわらず、この素案では「柏原駅東地区の活性化」にはつながりません。むしろ衰退化につながるのではないかと心配しています。柏原市民文化センターの現在の場所は、JR柏原駅と近鉄堅下駅の間にあります。柏原市内のどこに住んでいても電車・徒歩でアクセスすることができます。柏原駅は、JR大和路線と近鉄道明寺線の駅です。JR柏原駅は、柏原地区・堅下地区の徒歩圏内、高井田駅(高井田地区)・河内堅上駅(堅上地区)からも電車を使ってアクセスできます。近鉄道明寺線は、柏原南口駅とつながり、道明寺駅は、玉手地区の徒歩圏内の駅です。近鉄堅下駅は、堅下地区はもちろんのこと、法善寺駅・安堂駅・河内国分駅(国分地区・旭ヶ丘地区)・大阪教育大前駅とつながっています。電車を使えばすぐにアクセスできます。柏原市民文化センターの現在の場所は、このように市民にとって「核」となるような立地条件の良い場所にあります。このような良い場所を使わないということは考えられません。今後も、是非、市民のために公共施設として、有効に使うことを希望します。また、旧ハローワークの場所も、JR柏原駅と近鉄堅下駅から徒歩圏内のとても良い場所にあります。柏原市内のどこに住んでいても利用することができます。このような場所は、もっと市民が使いやすい公共施設になるようにするべきであると思います。工夫次第で柏原市民のための有効な公共施設にすることができると思います。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>各施設が安心して行けるように。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>小学校のように耐震工事はできないのでしょうか。サンヒルは高台に有り不便だと思います。堅下北、堅小、幼稚園は放置されていますが再利用を考えてはどうでしょうか。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>交流拠点は地域にあるべきもの。集約されるものではない。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>何故、交通の便の悪いサンヒル柏原に公共施設を沢山もって行くのでしょうか？コミュニティバスは柏原駅周辺はあまり通ってくれず時間もまちまちです。高齢化もこれからますますひどくなり、駅周辺には公園もほとんど見当たりません。柏原駅周辺全体が行政からおいでいかれる様です。又、図書館等も遠くなり利用しづらくなります。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>

ご意見	検討結果
<p>①市長、市議会議員は4年間、市政を任されていますが、市民は白紙委任をしたわけではありません。私はこの公共施設整備計画についてはまったく知りませんでした。一度決めてしまったら元に戻すことのできないこの計画については、一つ一つについて再編する必要性、メリット、デメリット、移転、取壊しに掛かる費用、跡地の利用法、移転してからの利用見込みの推移等を市民に知らせて住民投票するほどの問題だと思います。</p> <p>②文化センター、図書館については私は今の場所がいいと思っています。リフォーム必要箇所(何軒かの相見積もり)、建て替え時の費用(相見積もり)を出し、もし、移転が必要と思うならば利用する市民の側からの移転メリットを教えてください。また、リビエールホール1階の一部が空いているのでしたら、図書館分館として開館することは活用することにつながると思います。</p> <p>③市民が高齢化している中で立地の悪い場所に公共施設を置くと老人は出歩く場所がなくなり家に閉じこもりがちになります。車をもっていない人、生活弱者によりそう施策ではない。</p> <p>④サンヒル柏原を柏原市がもっている意味はあるのでしょうか。立地が悪く、車を持っていなければ行けませんし魅力もありません。</p> <p>⑤コロナで自粛が終わり、集まろうとした時にその場所もなく、文化施設もお粗末な都市ならば住人に幸福感はなく、転入したい人はいないのではないのでしょうか？柏原市を消滅させないために再編するならば市民目線に立った魅力ある街づくりを目指して下さい。</p>	<p>①いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>②パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p> <p>③いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>④サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p> <p>⑤いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市民の事を考える</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>(1) 圧倒的多数の市民が利用しやすいものとするなら、公民館(本館、別館)、勤労者センターのサンヒル柏原への移転、図書館のリビエールホールへの移転などは、行なうべきではありません。計画の中止を求めます。</p> <p>(2) 憲法では、人権保障と民主主義を実現するべく、地域の住民が地方政治に参画して、地域のことを自ら決定することが不可欠であり、そのために、地方自治体が自律権を保障している(憲法第92条地方自治の本旨)のであるから、住民の参画により地域の実情に応じた住民のニーズを充たす施策...を実現し...略とあることから、市民全体を対象とした説明会、懇談会を最低1年間地域別に行うことを要望します。公共施設は市民の財産です。市民の財産であるなら当然市民全体が意見を述べ合意、納得できる再編整備が行われなければなりません。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>仕事で怪我をして..足が痛み歩くのも自由に歩けません。今のところで建替えて下さい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>健康づくり、福祉政策の一環として公共施設を利用 健康で健全な身体は医療費の出費を抑え、健康日本一を目指して誇れる公共施設として使っていきたい。それには健全者、高齢者、障害者が勞せず気軽に立ち寄れる場所にあるのが一番です。また公共施設は各地域に分散していることが望ましいと思います。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>①パブリックコメントを募集していることを知りました。広報1ページの1/5もない程です。しかも×切が5/12(金)です。せめて1ヶ月～2ヶ月は必要では。</p> <p>②移転先がサンヒル柏原が5個、リビエールホール地下に図書館、福祉スキップKIDSが勤労者センター、フローラルセンター(柏原市の女性センターでは)がアゼリア6階、市民の利便性を考えていません。</p> <p>③私は安堂に住んですが駅からの坂がつらいです。</p> <p>④学力向上を主張しながら街に図書館が無い。</p> <p>⑤身を切る改革の切られる側は、全て住民。これは政治ではありません。市長の案ですか。再考慮を願います。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>図書館の移設とリビエルホール統合について再編に伴いメリットとデメリットがありますが、次の点について明確にしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図書館の移設に伴い新たにどんなサービス・機能が拡充されるのか？ 2 移転先のリビエルホールとサンヒルでも大きな改修費(957+480=1430百万円)がかかりますが、現状の市民文化センター・図書館を立て替える場合(耐震工事も含め)との経費比較はいくらになるのか？ 3 市民文化センター・図書館は、「まちづくりの要」(註)の施設、跡地利用の計画(住宅など売り飛ばすだけ)もないのに、「柏原駅東地区の活性化」(素案p92)と整合しているのはなぜか？ <p>(註)①柏原地域の中心地、②学校幼稚園もある文化教育ゾーン、③JRと近鉄の駅をつなぐ市内外の人の流動交差点、④建物だけでなく子どもたちが活用している公園の存在</p>	<p>1 柏原図書館につきましては、パブリックコメント等では、子どもの遊び場がなくなるとのご意見があったことから、子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になりました。</p> <p>2 今回の計画(素案)では、多額の建設費を必要とすることから財政負担を軽減させるため、条件の良い起債(借金)を活用することとしています。この起債につきましては、単なる市民文化センターの建て替えでは適用されず、他の施設と集約化・複合化することが条件となっているため、市民文化センターのみを建て替えた場合の建設費は算出していません。ただし、計画(素案)では、既存の施設を活用する場合と新施設(市民文化センターに加え、堅下合同会館、老人福祉センター、オアシス等を複合化する施設)を建設する場合とを比較するため、新施設の建設費として約42億円と算出しています。</p> <p>3 市民文化センターの跡地につきましては、市場調査の結果、住宅や商業施設としての活用ができることから、様々な方法により柏原駅東地区の活性化に資すると考えられます。なお、現在、策定中の「柏原市東地区まちづくり基本構想」との整合性がとれるような計画(案)となっています。</p>
<p>老朽化していて危険です。建て替えをお願いしたいです。そのための一時的な移転なら話はわかります。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>
<p>今回の再編整備に関して、広報不足も甚だしく、また市民の意見を聞く機会、その方法、期間ともにあまりに少なすぎることに驚いています。柏原市のウェブサイトでの素案の閲覧場所も、とても見つけにくかったです。(市民の意見など出来るだけ受け取りたくないというのが本音でしょうか)素案にいたるまでに十分に検討されたのか、そこに市民の意見の反映があったのか大変疑問です。この意見募集に関してもきちんと検討されるのか、結論ありきの素案ではないのか不安です。</p> <p>・サンヒル柏原の活用はやめてください。あまりに不便すぎます。あんな高所に乳幼児を抱えた女性や高齢者が通えるわけがない。まだ駅前の市民プラザへの移転の方が現実味があります。サンヒルを活用したいのはわかりますが、あそこそ不要です。設備を改修したところで利用者がいないのではまったく意味がない。それこそ税金の無駄です。</p> <p>・柏原図書館の耐震工事あるいは補強工事なら納得できますが、リビエルホールへの移転は、あれほど交通量が多く、道路に近い場所に子供が頻繁に通えるわけがない。冬場など、閉館時には周囲に人気がなく真っ暗となる場所へ行かせたいと思う保護者はいない。</p> <p>市役所近辺は、現在市役所内が勤務地である方には便利に思えるかもしれないが、市役所のある場所がそもそも不便です。</p> <p>今回の素案の内容の中でも、上記2点はあまりにひどい。私は現役世代で住民税を相原市へ納めておりますが、市民への配慮がなく落胆の思いです。もう少し市民に寄り添った市政であってほしいです。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・柏原図書館は、リビエルホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p> <p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>今回初めてパブリックコメントを知りました。広報を見ていても、図書館が移転するとまで気がつきませんでした。正直なところだまし討ちをされたようで市政に落胆しました。私は柏原市に転居して以来30年あまり、駅の近くで仕事の帰り道に立ち寄りやすい図書館が、学びの場であり憩いでした。子ども達が絵本を読んでいる姿も微笑ましく、高齢の男性が熱心に新聞や分厚い本を読んでいるのを見ると、生涯、本や文化に親しんでいきたいと思えます。リビエールへの移転は、気軽に図書館に行けなくなり、私から本や文化から遠ざけるものになります。市街地から離れ、交通手段も限られているので休日しか行けません。また天候にも左右されます。これからの子ども達には、大変不利な環境だと思えます。たとえ電子図書が普及しても、手に取る重みや触感、飛び出す絵本の驚きや感動を、親の教育意識や経済環境に左右されるようでは、魅力のある柏原市とは言えません。図書館前の公園も、子育て中の親子の憩いの場です。移転ではなく、防災の避難を兼ねた安全な文化センターとして再建してほしいです。その中に読書スペースも増やした図書館を作って欲しいです。学校やマンションも近くにあるので、子ども達が気軽に本や文化に親しめる場所を建て直して欲しいです。私も自分の幼少期と比べても、今の子ども達ほど情緒を阻害され一時的な知識のみ詰め込まれている状況に愕然としました。平成の頃も若い友人がとても刹那的な感覚を持っているのにも驚きました。経済的な状況が大きく変化したことやパソコン・携帯の普及も労働環境を激変させられたことも一因だと感じています。便利ではありますが、より多忙になりました。人との関りや不愉快にならない付き合い方なども、ゆとりのある環境でこそ培われます。それは子ども達も同様で、今は他者を受け入れる余裕がなくなっています。情緒を育み、文化や教養を身につけていくのは、生活の中の積み重ねです。文化・教養の低下は人間性の低下も引き起こし、大げさに言えば国力の低下につながると考えます。思考力の低下した国は、他国のコントロール下に陥る危険性ははらんでいると思えます。柏原市の図書館は、他市の図書館と比較しても全体的に遅れています。利用者数が低いなら、本や文化に興味を持ってもらう方法も必要ですが、企業ではないので業績を見るのではなく、いかに市民の要求に応えられるか、市民の安全な拠り所としての意義を持ってもらいたいです。私は公共の施設をより安全なものに建替えていくのが優先ではないかと思えます。柏原市は大和川が氾濫した時、逃げ場所のない家も多いと思えます。そんな時こそ公共の施設の役割が大きく果たされます。昨今の各地の災害を見れば、柏原市でも何が起こるかわかりません。健康で走れる大人でなければ、市役所やリビエール・サンヒルまで避難できるかどうかわかりません。今回のパブリックコメントは、市民にとって重大な案件があまりにも知らされていません。パソコンを持たないIT弱者は蚊帳の外です。もっと時間を取って、タウンミーティングや各町会を回り、文化連盟だけではなく、学校関係者、父母会など多くの意見を集約する手間を惜しまないでください。強引なやり方では市長はじめ市役所全体への不信感になり、転居先を探す時の口コミなどで柏原市の評価が下がります。未来に子育てに適さない町としてランクされては、市民としてはとても不快だと思います。国や府の方針もあるでしょうが、魅力ある住みやすい安心できる柏原市を、未来に創っていくためには市民を抜きに進めないでください。施設の用地を一度失うと同様の施設は作れません。私は、文化や公共施設は未来への投資であると考えますので、柏原で育った子ども達が、より良い社会をけん引する役割を担えるよう願っています。行政を担う方々の日常業務は、市民からは窺い知れませんが、市民のために日々働いてくださっている市職員のみなさんには感謝いたします。それゆえに市民の窓口として矢面に立つご苦労も多いと思えます。施策は市民の為でもありますが、職員の為でもあるものをご検討いただけますようお願いいたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。また、パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p> <p>いただきました内容は、今後の検討といたします。</p>
<p>市は利用率が低いという認識のようですが、この計画(案)では、ますます利用しにくくなると思いました。どうしたら、市民がもっと利用してくれるかという視点をもってほしいです。</p> <p>施設の老朽化は年数が経てば、当然ででくる問題なのに、いきなりこんな計画をだしてきたのだから、パブコメだけでなく、住民説明会も開いて、直接市民の声を聞いて下さい。文化連盟にはすでに説明会をしたそうですが、施設利用の登録団体にも同様の対応をして下さい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>ぜったい反対</p> <p>素案の内サンヒルは、無くした方が良くと思いますが、それ以外の施設は現在の場所での存続をして頂いた方が便利で行き良いです。さらに災害の時の避難所にもなります。</p> <p>素案のとおりだと市民生活に支障をきたします。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p> <p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p>
<p>この移転計画は、市民の利便性や移転した後の使い勝手などについて何も考えていないと思えます。市民目線が抜けています。誰がどういう理由でこの計画に賛同しているのか全く不可解です。一部のこの計画を進めることでの受益者が強引に計画を推進しているのではないかと思われるなりません。どうしても計画を進めたいなら、住民投票で過半数の賛成票を得てからにして頂きたい。かつての利便性無視の箱物行政の失敗を市民に押しつける様な計画には、絶対賛成出来ない。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>建物が老朽化するのには致し方ない事とは思いますが。元の場所に現在行っている事ができる様に再建して頂きたいです。集約されますと居住地が便利さに欠ける者は、文化其の他から遠退く事になりかねません。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。 この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。 今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。 柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。 公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。 このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。 小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとどめて頂きたいと思えます。 しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。"など"で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。 椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。 現在の文化センターは駅から近く、私達高齢者は利便性第一と考えています。サンヒル柏原は交通の便が悪く、バス等を増便したとしても不便このうえないことには変わりはありません。そうなれば、参加を見送らざるを得なくなります。それは、学習の場所を奪われる行為で、残念でなりません。 私たちは新築を望んでいるわけではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>・45年前に大阪市から国分に転居してきました。空気が良く、山河があり、利便性が良いので転居を決めました。その後子育てや私たちの通勤も便利で、健康で過ごせたのも柏原市で生活できたからです。 ・図書館も息子たちが小さいころから利用し、今、私たち夫婦も趣味の会などに利用しています。利便性があるから利用でき、健康で過ごせています。 ・今、柏原市は人口減少です。若い方が柏原市に転居したいと思う街としていくことが人口増につながります。自然環境を大切に、子育てのしやすい公共施設の充実が大切ではないでしょうか。 ・拙速に移転！！をすすめる前に、市民への説明会や意見や質問のできる場を設けて下さい。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>長い間利用させて頂いた所ですが、移転される事については、反対です。それによって足が遠くと、ますます不便になります。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>

ご意見	検討結果
<p>サンヒル柏原・柏原図書館について今回の素案は、市民目線の計画であるとは、とても考えられません。「サンヒル柏原」の場所は、だれでもすぐに行ける場所ではありません。あの場所は、特別な場所です。少し高台にあり、景色も良く、日常とは違う特別な場所です。そこを日常の公共施設にする計画には、反対です。高台にあるために、自家用車・バス・タクシー等移動するには車が必要です。だれでも、気軽にすぐに到着することができません。サンヒル柏原に行くには、市民に負担がかかります。自転車も上り坂がきつくて、乗って行くことができません。帰りの下り坂もスピードが出て、転倒の恐れもあり、危なくて利用できません。車椅子やベビーカーなども、あの急な坂道では利用できません。健康な方、若い方などは、徒歩で行くことも可能ですが、幼児・妊婦・高齢者・障がいをお持ちの方などは、徒歩で行くことが難しいと考えられます。市民が使う公共施設をこのような不便な場所に移動させようとする考えは、全く理解できません。市民のことを第一に考えている計画とは言えないと思います。色々な教室やお稽古、会議等で、柏原市民文化センターを利用している方は、柏原市民文化センターの機能が、サンヒル柏原に移動するのであれば、今まで続けてきた活動をやめる・続けることが難しいとおっしゃっています。このような方が多数います。柏原図書館をリビエールホールに移動すると柏原地区の図書館が無くなります。柏原地区の市民は、図書館で本を借りたり、読書をしたり、自習室を使うことが難しくなります。今までは通勤通学の時や買い物や少しの間の時間で本を借りたり返したり、すぐに気軽に寄れる場所であった図書館が、わざわざ坂を上って行く場所になってしまいます。益々読書離れが進んでしまうような気がします。リビエールホールを改修してきれいな図書館になっても、市民が使えない図書館になってしまったら、新しい図書館ができて市民は喜びません。だれのための図書館か、何のための図書館か、よく考えてほしいと思います。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>柏原市民の文化向上を願い健康と教養の為参加させて頂きたく、施設の利用お願い申し上げます。 利便の良い場所で宜しく！</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>サンヒルの多世代交流拠点について従来の宿泊機能を見直し、新たな多世代交流拠点をつくるという転換は、評価する。しかし、改修費が大きくなる中、有益な施設整備とするためには、現在の公民館の利用団体などだけでなく、事前に新たな利用者の確保と利用ニーズの把握が不可欠だと考えるが、それはいつどのように計画しているのか？</p>	<p>・サンヒル柏原につきましては、パブリックコメント等の結果を踏まえ、屋内での子どもの遊びや学びの場、高齢者の方の趣味・憩いの場など、様々な用途で活用ができる場を提供することにより、遊びや学びを通じて多世代が交流することができる「市民交流センター」として活用する計画(案)となりました。</p>
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。 この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。 今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。 柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなで作る暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。 公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。 このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。 小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとめて頂きたいと思えます。 しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。"など"で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。 椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。 高齢者や子供にとっては、安堂駅からサンヒル柏原までの坂道は半端なくキツイものです。サンヒル柏原への移転は中止して下さい。今の図書館は駅に近く幼稚園や小学校も側にあり治安もよく安心して利用出来ます。リビエールは交通量も多く子供一人では危険です。文化センターが老朽化しているのは分かります。それなら同じ場所に図書館等、今と同じように新たに建てて下さい。 私たちは新築を望んでいるではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>

ご意見	検討結果
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとどめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>一時椿会を退会して今期再入会したものです。入会した第一の理由は、やはり料理は認知症予防に非常に有用であると実感した次第ですが、今回のサンヒル柏原への移転は、私に退会せよと命じているように感じる程交通の利便性が悪くて封底納得いきません。</p> <p>私たちは新築を望んでいるわけではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>市長は、令和5年度の市政運営方針の中で第5次柏原市総合計画に掲げている「選ばれるまち柏原」の目標実現に向けて、活力ある新しい柏原への飛躍を図っていくと表明されています。</p> <p>この計画の概要版をみますと市民の意見の結果を踏まえ、文化振興拠点の市民文化センターを、遊休施設の目的外活用し丘陵地で周辺には店舗もなく交通事情に問題があるサンヒル柏原に移転する計画策定されている意図は不明確で理解納得できません。</p> <p>今年度も生涯学習については、公民館においては、市民の生涯学習の機会を促進するため、市民ニーズに応じた公民館講座を実施するとともに、市民の交流の場として快適に利用できるよう努力とあります。</p> <p>柏原市公民館本館は、そのような市民の生涯学習の拠点としてまさに市長が目標と掲げる目標3「利便性と快適性の高い住みよいまち」、目標4「やさしさと思いやりを育むまち」、目標5「みんなでつくる暮らし続けられるまち」の立地条件に当てはまるランドマークとしての場所ではないでしょうか。それを効率性や負債減額の対象とし、宅地造成や商業施設として売却の意向を示すのは、市民の貴重な財産を無配慮な計画で失わせる無謀な行為としか思えません。</p> <p>公共施設の課題としてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が必要であると挙げられています。ユニバーサルデザインとは施設だけの考え方ではありません。それを実施できる立地条件こそが真に重要であると考えます。それゆえ目標とする暮らし続けるまちの中心地と言い難いサンヒル柏原に集約することは到底納得がいきません。</p> <p>このまま既定路線としてサンヒル柏原に機能移転がなされた場合、循環バスの充実を訴えています。一番必要とする子育て世代や高齢者等の弱者が、利用時に移転前以上の快適な利用ができるかどうかお考えでしょうか。例えば、循環バスと併用した各鉄道駅とサンヒル柏原のシャトルバス(15分間隔)市民課講座には夜開催のものもあります。8時～22時までの利用も考慮に入れなければなりません。それは確約できるのでしょうか。</p> <p>小生は、柏原市文化連盟の椿会において市民文化センター公民館本館で生涯学習として活動する者です。椿会は食を通して健康を維持、認知予防のための生涯学習活動を行っている団体です。現在、会員数12名と小さな団体ですが、86歳を筆頭に70歳代を中心にアクティブに活動しています。料理作りは、脳を活性化し、認知予防に非常に有用な行為です。健康は食と重要に関係し、健康寿命の延伸を国策として「日本人の健康な食事」に関わる学習活動も心にとどめて頂きたいと思えます。</p> <p>しかしながら、サンヒル柏原の機能移転の説明には、陶芸・木工、茶道・華道、講習会などの多様な利用者ニーズに対応したとありますが、料理講座と明記がなされていません。”など”で誤魔化されてしまう訳にはいかないのです。加齢とともに、筋肉の衰えは致し方なく、それゆえドアtoドアに近い場所、活動のしやすい環境が必要です。</p> <p>椿会の会員としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>サンヒル柏原に機能移転となれば、交通の便が悪く、体力的に通える自信がありません。バス等を増便したとしても不便このうえないことには変わりはありません。これまで生涯学習として参加してきましたが、そうなれば、参加を見送らざるを得なくなります。それは、学習の場を奪われる行為で、残念でなりません。</p> <p>私たちは新築を望んでいるわけではありません。この願いが届くよう、文化センターを運営停止にするのではなく、耐震改修し、利用効率を高めた既存の施設利用の方向で再考を願います。また、素案に対するこのような意見書のみでなく、広く市民と意見交換できる機会を開催していただくことを希望いたします。小さな意見が公開されることなく、埋もれてしまわないことを切望いたします。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

ご意見	検討結果
<p>公共施設の老朽化は仕方のないことで、耐震化の必要性も多くの市民の方々に理解されると思います。ただ、取り壊した後に市民が使える新しい施設が建つという希望が全くないのは、市民としてがっかり感が半端ではありません。利用している、していないにかかわらず、公共施設は市民の財産です。それが数個所にうまく散らばっているとはいえ、移転すれば、移転先は想像するだけで閉塞感があります。</p> <p>柏原市の人口を増やす方法の一つは子育てのしやすさ、市民としての積極的な自覚、お互いの健康を気遣える関係性など、みんな(市民)で育てる空間が大切だと思っています。みんながつながりを感じ、それぞれの活動を理解し、応援しあう。夢のようでしょうか？そこを目指すのが行政の役割だと思っています。中央に集まり、親しい関係ができて、それぞれの地域に帰っていきます。地域のコミュニティなら参加できる方が増え、もしもの災害時には「見えないけれどもあるんだよ」の力が発揮されるでしょう。現状に対応だけでなく他所とは違う高いポイントを探し構築する。跡地が何かになって、いつか忘れられていくのではなく、跡地利用はそれぞれの世代のニーズを拾い上げて、それぞれの力を借りながら、後押ししていただきたいと思います。</p> <p>財政難は深刻なことですが、立派な建物でなくても安全であれば、安心して過ごせるスペースであれば十分いいことのように思います。元気な高齢者の力はまだまだ大きいはずですし、単なるボランティアではなく、地域通貨やポイントが「カシモ」の利用につながるように事業者さんにもご協力いただければ面白味や楽しが増えます。柏原市は山も川も身近にあり、自然環境の素晴らしさは、財産です。その活用は大事ですし、いろいろアイデアはあると思います。ですが、賑わいは質の高い賑わいを、他所から柏原は一味違うと口コミで広がるような…そういうことも市民と一緒にあって増っていけると期待しています。</p> <p>連休を利用して子どもたち二家族が遊びに来ました。どちらの市も児童館や公園が充実していそいでした。ないものがたくさんある中、大和川でも、神社でも、図書館でもよい時間を過ごせたようです。もう少しゆっくりと市民間で井戸端会議ができるよう、締め切り日の延長をお願いいたします。そうして得られるパブリックコメントの集計が意味あるものだと思います。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>公共施設移転に断固反対します。利便性を無視してあらゆる人が行きにくくする場所への移転は、住民の声を無視した暴挙であります。もし決めるのであれば、住民投票を必ず実施してください。議員の数の力だけで決めることだけは許せません。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>○市民文化センター関係</p>	
<p>公共施設は、駅や自宅から身軽に足を運べる場所にあつてこそ価値のあるものではないでしょうか。サンヒル柏原に一度でも、徒歩や自転車でたどり着く事に挑戦すると分かると思いますが、公共施設として相応しくありません。レジャー施設だからこそあんな高地でも良いのです。老朽化問題は分かります。しかし柏原市内には空地がまだたくさんあるのではないのでしょうか？文化センター、図書館も部分部分でリニューアル(リフォーム)する方がいいと思います。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>案を知ってびっくりしています。計画案に絶対反対です。市の図書館、公民館などずっと利用してきました。身近にあるから市民が利用しています。老朽化や利用者が少ない理由で再編統合するのでしょうか。公共施設は儲けるところではありません。市民がもっと利用しやすいように、広報や工夫を考えるべきです。3月末に閉館された、クリーンピア21も存続を求めて要望しましたが全く同じようにこの案も考えられています。市民、利用者にはほとんど説明もなく、アンケートや、パブリックコメントだけで意見を聞いたとするのでしょうか。文化や教養を高め、市民の憩いの場をもっと利用しやすく、身近に作るべきで1か所に統合するものではありません。再編計画方針に、「市民の利便性を悪化させないよう、施設の利用しやすさに配慮」とありますが、サンヒル柏原がそうなりますか。考えが逆行しています。柏原市は自然豊かな地ですが、行政は遅れているのではないのでしょうか。このような行政では柏原市の人口はますます減っていきます。計画を撤回し、再検討を要望します。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>

ご意見	検討結果
<p>施設の建て替えには賛成ですが、機能の集約や複合化には絶対反対です。今後の年齢構成の変化、つまり高齢化を考えるならより身近なところ、行きやすいところに図書館や公民館を置いておくべきです。現在ある場所は交通の便もよく、平地で多くの市民が利用しやすいもので、柏原市の自慢の1つです。高齢者や障がいを持った人もこれまで数多く利用されてきました。それを坂の上のサンヒルや行きにくく子どもにとっては大変危険となりリビエールに移転するのは絶対にやめてほしいと思います。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>公共施設を利便性の悪いサンヒルやリビエールホールに移さないで下さい、高齢者の施策が少ないなか、充実させるどころか後退です。高齢者が外に出かけ趣味を同じくする人と混わり、生き生きとした人生が送れています。利便性が悪くなれば、出掛ける事がためらわれます。図書館は、柏原東小学校、幼稚園、マンションの近くにあり、若い親子や児童、高齢者の幅広い層が利用し、文化、教育を提供してくれています。法善寺、本郷、大泉の住民が利用しています。柏原の真ん中にあるからこそ考えます。どこに図書館を置くか、大事な事です。リビエールの1階、地下では坂あり、交通面でも危険です。熟慮して下さい。住んで良かったと思える街にして下さい。(パブリック・コメントが12日締め切りは期間が短かすぎます。)</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>柏原市民文化センターが移転?? 長い目でみて市民の方々が利用しやすく活躍されやすいことが柏原市の一番の活性につながると思います。跡地は何になるのか? 駅(JR、近鉄)にも近く、幼稚園、学校にも近く子供さんたちも安心して利用出来る場所は他にないと思います。利用される方々が遠のくのは如何なものでしょうか。よりよい柏原市になる様再考をお願いします。私は高齢です。そんな遠くにはいきません。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>サンヒル柏原は、高齢になっていくため坂道がありつらくなります。又リビエールホールも私たちの町より遠くなり図書館の利用が軽減されます。このままで良いのでしょうか。もっと住み良い町を作るのには市民の声を聞いて移転すべきではないでしょうか。人口も減って来ています。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>現在JR柏原駅にある図書館や文化センターを売却してサンヒルに移す計画には、断固反対です。立て替える計画なら分かるが、市民の利便性や将来性を考えない馬鹿な計画には市民を馬鹿にしてるとか言いようがない。もっと将来性のある建設的な計画を考えて頂きたい!</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>現地建て替えて、計画を初めからやり直してください。 施設の老朽化はどんな建物でも自明のことで、民間のマンションでは建築時から、将来に向けて居住者が必要な資金を積み立っています。柏原市がそんな初歩的なことをしていない、あるいは考えていないとは思われませんが、柏原市の計画ではそのことが明確になっていません。しかもサンヒルやリビエールには、仮設ではなく本格的な移転などは論外です。従って現地建て替えてを前提とした財政計画と、それに必要な臨時的対応についての計画に、変更することを求めます。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p>

ご意見	検討結果
<p>今の文化センターの場所は、周辺には、学校、保育園、大きなマンション等もあり、子供も人も集まりやすく、交通の便もよい。子育て世代の集いの場、シニア世代の文化交流の場となり双方の交流もできる住みよく、子育てしやすい場となる事を希望するので、現在での場所で、補強でも建て替でも考えて頂きたい。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>柏原市はJR・近鉄と交通の便もよく自然豊かでくらすのにとってもいい所です。今回の計画で文化センター(図書館)が交通の便利な中心地からなくなってしまうことは柏原市の魅力も半減です。せめて文化センター(図書館)は今のところへ建替え、残して頂きたい。以前文化センターで着付け教室へ参加しましたが、先生もよく、安価で他市の方からうらやましがられました。又参加したいと心まちにしていますが、サンヒルへとのこと着物や帯等をもってのあの山道はとても参加できないと残念です。今回の計画は、柏原市民の事を思っの事とはとても思えません。市民の利便性を考え、住む人の魅力ある町づくりへ、再考をお願いします。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>図書館を時々利用しています。現在の場所は、周囲の環境、交通の便も良いのでいい場所にあると思います。変えてほしくないです。公民館がサンヒルの所になると行きにくいです。文化祭などよく観覧させてもらっています。公民館は誰もが行きやすく利用しやすい場所であってほしいです。検討よろしくお願ひ致します。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>いつもお世話になっています。この文化センターは大昔は市役所であり、その後皆さん(市民)の集う場所としては最適の位置、JR(柏原)堅下、両駅からも近く、その場が他の所用になるのは残念。文化教育都市の場所として柏原の文化向上の為に、是非良い形で残して下さる様に。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p> <p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>

ご意見	検討結果
○公民館本館関係	
この文化センターで市民が色々な講座に集い、仲間と切磋琢磨して柏原市の文化を盛り上げてきました。人口7万人弱の小さな市ですが、山に囲まれ川の流れる美しい街です。市民の楽しみを奪うような市政はやめて下さい。市民に寄り添う温かい市政をこれからもお願いします。	・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
今まで受講した講座などが山の奥のサンヒルに変わるとなれば、車を所有している人にだけ受講しろ！という考えですか？ 子供や老人、徒歩、自転車しか行動出来ない者にはがまんしろという事でしょうか？ 老朽化問題は仕方ない事ですがもっと市民一人一人が安全に行き来出来る場所への移転をご検討下さい。	・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
小さな通いやすい近くの公民館を潰し、みんなひっくるめて大きな通いにくいどこでかい施設にしてしまうのは大反対！もうオアシスで懲りている。もっときめ細かい小さくてもあちこちに施設が欲しい。高齢者が増えている。いくら循環バスを増やすとて、不便になることは必至。徒歩で。自転車で。すぐ行くことができるから、たとえたった月2回だけの練習でも楽しく続けられている。もうコーラスウェルカムは、せっかく、ここまでこつこつ増えてきている団員も激減し、消滅してしまうかも知れない。今の会館を立て直していただけないのか。切望する。なんでもひとまとめにしてしまうことが、経費削減だけが良いとは思えない。身近に、すぐそこに行きやすいところを減らさないで欲しい、わざわざ、遠方まで、行きたくなるのは困る。将来を見控えて考えて欲しい。せっかくの楽しみを生きかいを殺さないで欲しい！怒りがこみ上げて止まらない！	・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
3階講堂を使わせていただき楽しくコーラスを続けさせていただいています。コロナ渦の中でも工夫をしていただき練習できた事は、本当にありがたく感謝しかありません。JR、近鉄の駅からも近く駐車場もあり一階には図書館、隣りには、息抜きの出来る公園もあります。最近、文化センターの周りに新しくコンビニもでき、コインパーキングもできています。恵まれている柏原市民として自慢していました。が、突然の移転、サンヒル柏原へ…、戸惑っています。どうやって、サンヒル柏原まで行けば良いのか。	・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
今まで柏原市の中心に位置していた文化センターが、山の上のサンヒル柏原に移転すると、自転車や徒歩で行けてたのにに行けなくなります。どうか移転せず耐震補強するか、建て替えてもこの場所に建設して下さい。サンヒルに移転は絶対に反対します。	・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
八尾市在住ですが、柏原の方が近いので、多く利用させて頂いております。コーラスの練習場所、是非提供して下さい。	・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
サンヒルにしても色々行く場所は、市民の事、高齢化の事を考えてほしいと思います。 文化センターにきらめき号を使用してありがたく思っておりますが、市民のすべてが使用しやすい事又、もっと利用しようと思う様な建物を作ってほしいと切に思います。	・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
「市民文化の殿堂」「生涯教育の場」として建設された市民文化センターの存続をぜひお願いいたします。長く市民文化の中心地として市民に親しまれ交通の利便性も良く、まさに”市民文化の要”である市民文化センターを存続する方向で方針の再検討をお願いいたします。	・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。

ご意見	検討結果
<p>私は、文化センターをなくしてサンヒル柏原に移転する案が出ている事に反対です。唯一楽しみにしてるコーラスの練習場所が交通の便も悪いし遠いし持病持ちの私は夢も希望もなくなってしまうそうです。年寄りが何かしないで家でボーッとするとボケてくると思います。絶対に取り壊しは反対ですのでよろしくをお願いします。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>アンケートにも書きましたが、公民館本館を耐震補強して、継続して下さる様をお願い申し上げます。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>現在、御世話になっております、文化センター便利なので、耐震補強お願いして頂く事を希望します。サンヒルは、不便なので、続ける事は、無理です</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>長年公民館でのイベントや講習会など楽しませてもらっていたので、サンヒルまで行くのは遠いので(坂もあるし)困ります、存続して頂きたいです。楽しみが減ってしまうのはつらいです。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

ご意見	検討結果
<p>3月12日開催の柏原市文化連盟理事会席において、本件に関する計画案の説明をお聞きしました。その後柏原広報4月号10ページにちらっと、パブリックコメント募集記事が目に入り、早速QRコードで検索理解しましたが、果たしてこのお知らせスペースでは、殆どと言っているほど、市民の目には留まりません。告知の通り、4月13日「柏原市公共施設等再編整備基本計画案」(概要版)が、公開されました。文化センター、堅下合同会館、国分合同会館には、アンケート用紙と回答ボックスが設置されています。4月18日、柏原市社会教育課より我が合唱団宛に、概要版と市民参加申込書が郵送されてきました。団員にはその内容を詳しく通達し、話し合い、そのまとめを、それいゆ合唱団の要望書として提出します。</p> <p>一カ月の閲覧期間があるとして、果たして何%の市民がこの大切な告知を目にし、回答できたでしょうか？ウェブサイトで閲覧できるネット社会です。しかし、市民にはまだまだアナログ対応も必要と思うのです。市役所又は堅下とか国分合同会館に向いての閲覧、その場所に行かないと閲覧できないこの事実、せめて3ページにまとめられた概要版は、市民誰もが簡単に手にし、目にできるようにしていただく工夫はなかったのかと、残念に思います。そうであるならば、この回答状況は変わっていたかもしれません。</p> <p>多世代交流拠点は交通の利便性を第一に考えていただきたい。</p> <p>お願いです。人が共に集う場所は交通の利便性が必要なのです。この原点を外さないでください！多世代交流拠点の集約化、これは理想とする計画です。であるのならなおさら、交通の利便性が問われます。少子化・高齢化、文化政策の在り方を総合的に考えていかなければならないこのご時世、柏原市の地理的条件と高齢化や少子化を加味するならば、不便な山の上に、車の利用、循環バス利用でしか往復できないサンヒル柏原を拠点にと、考えるのは？・・・今どきナンセンスです。駅から不便ということは、いくら車社会と言えど、若い世代も、高齢者も、10代の青少年にしても、使用しづらい立地になるだけです。先ず一つに、柏原市の中央を大和川が流れる立地で、文化施設のサテライト的な拠点が柏原駅周辺一つ、国分駅周辺一つ、どちらも駅近隣に必要だと考えます。なぜかと言えば、子育て世代が、例えば仕事帰りに図書館に寄る、生涯学習講座に立ち寄る、文化活動サークルに参加する等々、日常生活の上で利便性のよい駅周辺に文化施設があることが文化の活性化に繋がると考えられるからです。小中学生など青少年についても、徒歩圏内や自転車で行ける範囲に文化施設がないと、無理が生じてきます。</p> <p>今後、益々共働き世帯が増える事を考えてみてください。遠いサンヒルを拠点にすることは親の車でしかアクセスできません。駅周辺の交通の便利な場所に拠点を！と考えていただきたい！せめてそれに次ぐ文化施設が柏原駅周辺に国分駅周辺には必要だと思います。高齢者についてももちろんです。移動がなかなか大変な方もいらっしゃる中、誰もが遠い山の上のサンヒルでは、文化活動への参加をあきらめる方も多々おられるでしょう。人にやさしい柏原市であってほしいと願うばかりです。”</p> <p>文化活動には継続することが大切です</p> <p>文化活動はやめてしまえばすぐにすたれてしまいます。再びやります！と言ったところで簡単に戻せるものではありません。これまでの文化連盟が中心となって重ねてきた何十年もの年月があるからこそ、柏原市の文化力が高まってきたと信じたいです。それは文化連盟50年の歴史が物語っています。実際、会員数も減り高齢化も進んでいることは確かです。効率化、安全のために、文化施設に対して必要な対策は講じていかなければならないことはよくわかります。と同時に、文化活動には継続することがとても大切！という事も、よく理解していただきたい。</p> <p>私達それいゆ合唱団、昨年12月3日、秋川さんのコンサートステージに立たせていただきました。これは柏原市の何十年にもわたる手厚い文化政策があったからこそできた事だと思うのです。当日は富宅市長様もお聴き下さり、秋川氏より、市長様より、絶賛のお言葉をいただきました。私達には貴重なステージでした。一カ月あまり集まって練習した即席合唱団とはわけが違う、文化力がそこに存在すると自負しております。43年前柏原文化講座からスタートした合唱団、文化センターで堅下合唱会館で学び育みました。便利な場所に楽しく歌えるレッスン場所があったから、みんなが集まり、ここまで続けて来られました。サンヒルまでお稽古？となると団員数は確実に減少、人数が集まらないとコーラスはできません。今まで培ったそれいゆ合唱団を、柏原の地で生まれた合唱団を、これからも存続させたいのです。</p> <p>アゼリアに、是非、音楽可能なスペースを！</p> <p>コーラスレッスンにはピアノの設置と防音設備が必要です。柏原には音楽を楽しむグループも多く10月開催の市民文化祭音楽祭りは盛大に行われます。どのグループもレッスン場所確保に必死です。幸い文化連盟に加盟することで、年間契約が叶えられました。コーラスに限らず、たくさんのクラブは、アゼリアという便利な場所を必要とするでしょう。アゼリア6階にはフローラルセンターが移転するようですが、そうなれば益々貸館スペースは限られます。是非音楽レッスン可能なお部屋を確保していただきたいのです。歌える場所をあたえてください。コーラスは人数も多く、大きな部屋を必要とします。是非公民館活動に応じた価格設定の見直しと、文化連盟会員扱い可能な場所として提供して下さい。今まで通り、文化連盟の会員が楽しく学習できますように！文化連盟から歌声が消えませぬように！！</p> <p>再びこの場所に・・・は、無理なお願いですか？</p> <p>財政的に現在の文化センターの場所に存続させることは難しいと、お聞きしているのですが・・・他市をみましても、近年生涯学習の取り組みに力を注いでおられます。殆どが駅の周辺の交通の便の良い場所に公民館が設置されています。青少年から子育て世代、高齢世代まで幅広い方が集う施設、それは笑ましい光景です。それらを叶えられるのは、やはり、現在の文化センター、この場所です。見晴らしの良い静かな山の上で多世代交流場所を、これは理想だけです。現実を考えて欲しいです！文化の継承と市民文化の交流、</p> <p><small>多世代交流拠点を再びこの場所に！と願うばかりです！その事について再検討して下さい！と、お願いするのは、どう無理な事なのですか？</small></p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>・今までは自転車や歩行で便利だった。サンヒルまで坂の上りは大変です。</p> <p>・公民館で続けてきたお稽古ですが年も取って歩いていくのが出来ないのが残念です</p> <p>・市民の意見を本気で聞いて欲しいです</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>柏原市公共施設等再編整備基本計画の内容について、公民館本館がサンヒル柏原に移転する案が示され、新しい施設は建設しない方針であるとの報告を受け、文化連盟会員一同困惑しています。サンヒル柏原での活動は、アクセスが悪く、高齢者やこども、又は、夜間の活動にも大きな支障が出ます。市民の文化活動のご支援よろしく願います。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

ご意見	検討結果
<p>サンヒル柏原での活動になると本当にアクセスが悪く、高齢者や子供、また夜間などの活動にも大変大きな支障になります。柏原市の目指す「文化教育都市」として利便性のあるこの文化センターの場所に建て替えるか、耐震補強をもう一度見直して下さい。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>文化センター移転に反対です！ 文化センターで講座やクラブでいつもお世話になっていますが、もしサンヒルに移転されたら、クラブも続くのだろうか心配です。私の行っているクラブは、高齢者が多く、歩いてくる人と自転車でくる人がほとんどです。今の文化センターは、良い場所にあるのに、サンヒルに移転されると、みんな来れるのだろうか心配です。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>私の祖母は公民館でコーラスを楽しんでいます。病気になって杖を使って歩いているため、サンヒル柏原のような山の上には行くことができません。祖母以外にも柏原にはご高齢の方がたくさんいらっしゃいます。利便性のある現在の公民館の場所に建て替えしていただきたいです。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>ケーキ教室、英会話、着付教室等長年楽しく受講させていただきました。サンヒルまでは遠く参加できません。年々無理になってきました。楽しく参加意欲がわく場所で受講したいです。安全で通いやすい場所で希望します。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>・他市から又国分玉手方面から電車で参加する団員がいるので、近鉄、JRに近い今の場所が望ましい。 ・高齢になってきているので坂の上まで自転車、徒歩では無理。 ・趣味を持つという事は、イキイキ過ごす事が出来、健康を保つ事が出来る、ひいては医療費が押さえられる。 ・柏原の文化教養を高める為にこの場所は必要!☑</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>会員の大多数が70代80代であり、サンヒル柏原へのアクセスは困難が生じます。活動の継続が難しくなり、会員数減少へとつながり、クラブの存続も危ぶまれます。 要望事項<文化センターについて> ①耐震補強を実施し、利用する ②建設費用を見直し現在の場所に建設検討を望む ③他の平地、市街地の施設に再編整備を望む</p>	<p>①柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。</p> <p>②厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。</p> <p>③パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

ご意見	検討結果
<p>趣味の講座で市民文化センターを利用しているものです。メディアでインフラを含めた公共施設の存続について、報道されていることを興味深く関心を持っております。公共施設の再編は、安全面・費用面から避けて通れないことなので、実施については、一定理解しております。しかし、市が進めるサンヒル柏原への移転は、今の駅前と比べアクセス面で大きく劣るため、利用者(私を含め特に高齢者)から理解を得られないことが予測されます。将来のことも大切ですが、今の施設利用者の意見も取り入れながら、例えば、一定期間を稼働率に余裕がある柏原駅前の市民プラザや堅下駅前の合同会館を活用しつつ、段階的にサンヒル柏原にいてんする方法で進めていただければ、理解が得られるとっておりますので是非ご検討の程よろしく申し上げます。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>文連に参加させていただき、この計画を聞きびっくりしました。市民にもっと広く公開して柏原市の現状を一般市民に意見を聞いて柏原市をもっと良くしてほしいです。</p>	<p>・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>公民館で行っていることがサンヒルまでは坂があって行けません。建て替えであれば又元のところに建ててほしい。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>私達の会は高齢者が多く徒歩、自転車等で通える平地でないと、会の存続も難しく思う。教室を寄り処にしている人が多い。サンヒルが拠点になると今までの活動に支障が出て家に引きこもる可能性があると思います。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>サンヒルに移転する(案)ということですが現在文化センターで活動する年齢構成を十分考慮されているのでしょうか、高齢者を排除しようとするのでしょうか。他市町村では高齢者について、精神的体力的に充分施策として考慮していると聞きます。ではサンヒルは何故反対かということ、足許が大変不便であるということ。バスとか運行されても時間的に色々制約を受け個人的な条件が緩和されない。ことそのようなことは個人の事情というならば行政は強制的であり、皆さん辞退され高齢者は巣ごもり状態となり健康が維持されなくなる</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>エトワールかしわらコースで文化センターを使用させて頂いております。駅近の為、今後も文化活動を続けて行ける会場です。耐震補強を再度ご検討お願い致します。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>20年近くコーラスをやっています。80才過ぎの高齢者です。今の所、歌を歌っているお陰で元気に毎日生活しています。これが実現出来たらと夢の様に思いますが、今、アゼリアには6個所の事務所スペースがあるようですが、ここを収容人数を多くして、防音装置をして、ピアノ、(又は電子ピアノでもよい)を置いて(部屋数を減らす)もらうだけで、何団体かの合唱団やその他のサークルに使用出来るのではないのでしょうか。6箇所全部でなくてもいいです。曜日を分けて使用をすれば?と考えています。あと何年歌っていけるかわかりませんが、ささやかな希望?夢?です!歌は我々老人の健康の源です!アゼリア以外はとも通う事無理です。練習会場への直通バスがあってもいいですね。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>白ゆりの会で調理室を利用していますがサンヒルになると、あの坂道を自転車で登るのは無理です。一度歩いたり、自転車で行ってみてください。どれだけ大変か。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

ご意見	検討結果
<p>本当に悲しいことです。サンヒル柏原は安堂の坂を越え、また道路からクネクネとした高台にあります。そんな所へ公民館を建てるその考え方に、年寄りのことなど考えていない人達が市の中心にいるんですね。歩いてでも自転車でも行けない場所に移転しないで下さい。市街地にある今の場所に建替えて下さいお願いします。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>市民文化センターにて講座を習っています。 耐震性が低い施設を使い続けることは不安でもありいずれは使えなくなることは理解できますが、候補地としてのサンヒル柏原は使用している者からするとありえないです。 実際車の運転ができる人しか使えない場所であることは市民の大半はわかっております。 現在、講座を習っている方は高齢の方が多くです。私は子育てが終わりようやく趣味に時間を作れる世代です。現在の市民文化センターは駅から近い、だから徒歩や、平坦な道なので自転車でも来れるんです。予算がすごくかかることはよくよくわかりますが、実際に市民が集って学ぶ場はコミュニティの場としてとても大切な場所なので長い目でみてください。 市民が集いやすい場所を大切に考えてください。よろしくお願いします。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>・サンヒル柏原を多世代交流拠点にとの提案、これは理想論であって、これこそお金の無駄使いです。文化の交流の第1は、利便性、駅の周辺にある事です。文化教育都市柏原の威厳は保つべき。文化連盟活動を続けさせて下さい。 ・今の文化センターの活用方法を考えていただきたい！ ・パブリックコメント募集記事、広報4月号にちらっと…、これでは市民の目に届きません。閲覧場所もない、廊下で立ち読みは無理です。A4(3枚)の概要版も持ち出し禁止といわれました。残念です。 ・市民の声に耳を傾ける！その対応に欠けています。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>私は柏原市に42年間住んでいて、昨年親の介護のため八尾市へ移転しました。柏原市では公民館講座や色々な行事に参加しやすく、今でもJRを使って参加させていただいています。現在の公民館は駅から近くとても便利です。サンヒルに移転となるともう参加出来ません、皆さんサンヒルには坂道があり参加しにくくなると思います。公民館は市民に広く利用できる施設であるべきだと思います。サンヒルへの移転は反対です。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>私は文化センターで30年以上クラブに参加して皆様となごやかな時間を心豊かな一日を大切に過ごしてまいりました。 高齢者が多くサンヒルに行くことはとうてい難しいです。市内バスも一時間に2、3本運行してほしい 、土、日曜日でも運行できるような考えもあるのでしょうか 今ある場所は交流の場としては最てきだと考えます。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>公民館がサンヒルの様な不便な場所に移転すると80才を過ぎた私達には行くことが難しくなります。市民の文化サークルの活動をしてらっしゃる皆さんも活動し辛くなるのではないのでしょうか？ 使い勝手を考えない施設再編計画は考え直して欲しいと思います。文化を軽視する町に将来はありません。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>・公共施設の再編を聞いて(移転先、今後の有り方等々)驚きばかりです。(4月に入ってから、又5月の公報で知りました) ・文化事業は市民、そして市の活性化につながる重要な存在です。 ・アクセスの不便はサンヒル柏原で、何が出来ますか？反対します。考慮して下さい。市民の声も聞いて下さい。(知らせて下さい) ・このままだと柏原市の人口減少につながり、住みにくい場所になります。住み良い町づくりとは言えません。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>今の場所は行きやすくて便利です。サンヒルに変わると遠くなりますし、市民用のバスや自転車で通っての方も多のお菓子教室へ通えなくなるといふ話も聞こえてきます。長い間楽しく通ってのお菓子教室の場所が遠くなるのは困ります。高齢者も多いお菓子教室、交通アクセスが悪くなると困ります。移転するのは仕方ないと思いますがせめてアクセスの良い場所にとお願いします。家族もお菓子教室で作るお菓子を楽しみにしています。沢山の人が楽しみ奪われてしまいますのでよろしくお願いします。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

ご意見	検討結果
<p>公共施設のサンヒルへの集約に反対。文化センターなぜ建て替えてないのか？市民の声聞かずしてのやり方反対。75歳高齢にて遠方にいけない足です。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>文化センターの建物を耐震補強して頂き、現在の平地の場所で存続できるのを望みます。サンヒルの遠くて急な坂道は高齢者ばかりのクラブでは無理です皆さん近いからこそ続けられているのです。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>柏原市文化センター(公民館)の存続について、サンヒル柏原に移転では、多くの市民が利用することができなくなる。交通の便悪く、アクセス困難となる為。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>文化センターの老朽化、柏原市の財政難は理解していますが、活用されていないサンヒルに文化センターを移すというのは市側に都合の良い話であって市民のことが全く考えられていません。市民の利便性を考えれば、サンヒルは最悪の場所に在ることぐらい市側もご存知のはずです。市民に喜んでもらえるよう文化センターを今の場所に建て直し、これまでと同様に多くの市民に活用されることを願います。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>公民館利用しています。サンヒルの移転は反対です。利用者には移動手段も様々で歩道もなく、信号もなく、外灯も少ない場所は大変危険です。市民の住みよい、子育てのしやすい街作りを政策している維新の市長に幻滅しています。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>

ご意見	検討結果
○柏原図書館関係	
<p>図書館は建て替えと思ってましたが無くなりサンヒルになると思ってませんでした あの山の上までバスが一時間1本でも行けば使えるかも知れませんが、今の状態では行けません。他に色々な所を使っていますが、サンヒルまでは行けません。柏原住民のことを考えれば他に方法はあると思います。市民のことを考えて下さい。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>公共施設の再編のことを知り驚いています。今ある図書館は老朽化していますが、駅に近くまた治安もよく安心して利用できます。親子を対象にした絵本の読み聞かせを時々されていますが、絨毯に座って語りを聞いたり、折り紙などものを作ったりして楽しそうです。帰りは、横の公園でママ友同士子どもたちを遊ばせている姿を見かけます。老朽化した建物の改修や建て替えで一時的にリビエールの地下室を間借りするのであれば理解できますが、リビエールへの恒久的な移転は、今の図書館機能を十分果たすことはできないと考えます。第一、リビエール周辺は交通量が多く子どもたちに危険です。遊べるスペースもありません。図書館は、世代を問わず文化と教養の拠り所であり、地域の知的資源です。貴重な文献や資料が、地下室のような環境で保管できるのかも気になります。再編については、利用者の声をよく聞いていただき、検討しなおしてください。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<p>私は小さい時から絵本が大好きです。19歳になっても図書館が大好きです。今のところに図書館を建て直してください。地下の図書館はいやです。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・柏原図書館の移転先へのアクセス、使用しやすい様に土・日曜も含め循環バスの増便、バスの有料化も有り ・図書のリターンポストを駅前(柏原・国分)、人の集まる所に作って欲しい ・移動図書”ひまわり号”が目的地に近づいた時、音楽を流して知らせたい ・市会議員の人数は適切な数か？減らした予算を有効に使って欲しい ・学校の空教室利用の検討 	<p>・いただきました内容は、今後の検討いたします。</p>
<p>図書館は、今は学校や幼稚園の近くにあるので、帰りに子供達だけでも寄りやすく利用しやすいのに、なぜわざわざ交通量の多いリビエールホールに移転を考えているのか理解できません。今まで利用していた子供達も不便で危険なので、利用しなくなると思います。もう少し利用する人のことを考えて頂きたいです。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<p>子育て世代として意見します。</p> <p>1、柏原図書館のリビエールへの移設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要駅から遠く利便性がなくなる。 ・行くまでに交通量が多く、歩道もガードレールなどで整備されていないため、安心して子どもだけで利用させられない。 ・近くに公園がなく、ついでに遊んだりできない(今の立地は、幼稚園、小学校が近く、買い物もしやすい。ついでが増えるのでその分利用が増え、読書習慣に繋がる) <p>2、今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政が厳しいことも理解できるが、人口構成の変化がおきても利便性はどの世代、どの人にとっても変わらない住民ニーズである。図書館は今の立地で公園併設が望ましい。 <p>他の施設もアクセスしやすい環境にしてほしい。それが、住みやすさに繋がり、後に転出減や医療費削減(行動範囲が増えるため)にもなる。目の削減だけでなく、長いスパンで計画し、住みよい柏原市にしてほしい。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>

ご意見	検討結果
<p>市立柏原図書館の移転に反対します。(理由)柏原市内においても特に人口が密集している柏原駅(JR)、堅下駅(近鉄)及び法善寺駅(近鉄)付近に居住している市民の利便性を著しく悪化させると考えます。現状、市立柏原図書館は周辺地域における市民の利便性に配慮された配置場所となっており、知の教育としての社会的インフラ機能を果たすとともに、老若男女問わず憩いの場として利用されています。これらの機能については、周辺地域の市民が集まることによって実現できることであり、施設の集約化では到底実現することは困難であると考えます。また、移転先に予定されているリビエールホールについてですが、図書館に行くために電車に乗るのは時間的・金銭的・心理的な負担が非常に大きいです(特に子連れや高齢者等)。おって、少子高齢化が進む中で人口密集地域の利便性を悪化させることは転出人口の増加にも影響があると考えられるため、一市民として将来の柏原市に大きな危機感を抱いております。以上の理由から柏原図書館については、利便性を鑑みて現状の場所に配置したままで、老朽化対策を実施すべきと考えます。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<p>小学生の頃から図書館を愛用しています。老朽化は分かりますが、なぜ、不便で坂の上にある「リビエールホール」に移転なのでしょう？現在、図書館は堅下駅と柏原駅のほぼ中間に位置しており、非常に交通の便が良いです。そして、乳児から学生、高齢者まで様々な年代が幅広く利用できる場所となっています。反面、「リビエールホール」は坂の上であり、車椅子やベビーカー、幼児、高齢者の方が歩いて行くには大変不便です。全国、どこの図書館も市民の利便性を第一に考え、建てるものではないのでしょうか？安全で、誰もが利用しやすい図書館にするには、「リビエールホール」への移転ではなく、図書館の建て替えを希望します。以下は、8歳の息子の意見です。「今は自転車ですぐに行けるけど、リビエールホールになると遠くて1人では行けないです。またともだちと遊ぶ場所でもあります。図書館は大切な場所なので、変えないでください」とのことです。市民にとって大切な図書館を、守ってください。誰もが利用できる図書館の再生を、賢明な判断をお願いします。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>
<p>今の図書館は、駅に近く幼稚園や小学校もそばにあり、治安もよく、安心して利用できます。リビエールは、交通量も多く子どもひとりでは危険です。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<p>市民の声を聞いて、もうすこし話し合い、いい方法を考えてほしいです。図書館も安心して利用できるよう図書の充実を考え、明るい光の入る今の図書館を有効に使えるようにして下さい。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<p>私が勤める堅下北小学校の子ども達の少なくない人数が文化センター(柏原図書館)をよく利用しています。移転計画は子ども達の思い、教育にとって大きなマイナスです。その他の施設の移転計画も現在果たしている役割を維持できる計画になっているのか、明確にしていきたいです。移転先の機能も低下するのではないのでしょうか。是非再検討をお願いします。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<p>図書館が遠くにいけば不便ではない。図書館は皆んなに愛されなければならない。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。</p>
<p>(自転車は乗れますが、足腰が弱い)近くの文化センター内の図書館を、しばしば利用させていただいています。いつもありがとうございます。つい先日、図書館がリビエールホール内に移転するとの情報を知り困惑しています。文化センター老朽化とのこと、しかたないのかと思いますが、せめて、予約した本の受け取り返却と、子供達の絵本のようなものだけでも置けるスペースを、現文化センター近くにも作っていただけたらとメールしました。</p>	<p>・いただきました内容は、今後の検討といたします。</p>

ご意見	検討結果
今の図書館は利便性がよく治安もよく安心して利用できます。こどもがひとりでは危険がともなう場所には心配で行かせられません。	・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。
今年4月から仕事73歳になって終了しました。図書館は利用して喜んでいきます。リビエールは大丈夫です。足が丈夫だから行けます。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。

ご意見	検討結果
○堅下合同会館関係	
<p>この度の柏原市公共施設等再編整備基本計画(素案)の柏原市立青少年センターに対する意見としまして反対致します。</p> <p>その理由として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンヒル柏原のみに集約してしまうと、今までのように活動しにくくなる。 ・室数に限りがある。そのため希望時間に確保できるのかどうか不安である。 ・通い難い。高齢者が多いため、徒歩、自転車でさえ難しくなる。 ・循環バスを増便されても、目的地に着くまで、また帰宅にも所要時間がかかる。 ・バスに合わせて練習時間を考慮しなければならぬ。 ・車で行くことができる者は殆どいない。 <p>などのためです。また質問として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンヒル柏原移転という一点張りでなく、もっと多様な柔軟な対応策はないのか？ ・何故通い難いサンヒル柏原だけに集約するのでなく(リビエールホール、市役所別館、市民プラザ6階)にも、分散移転できないのか？ ・何故好立地の(栄吉(JR柏原駅前 無人駐輪場上)、ハローワーク跡、柏羽藤クリーンセンター プール跡)は放置なのか？ ・サンヒル柏原に移転するなら、堅下合同会館にあるようなグランドピアノを設置してもらえないのか？ 防音対策はしてもらえないのか？ 室数を増やしてもらえないのか？ ・循環バス増便の他に (JR柏原駅 ⇄ サンヒル柏原、近鉄国分駅 ⇄ サンヒル柏原)のシャトル便は可能か？ <p>そして提案として、財源不足ならもっと市民から多様な案を募集してはどうか。たとえば期から近い地域の会館(今町、堅下などの)を改修して使えないものか。学校の講堂、音楽室、視聴覚室とか民間の施設(JA、郵便局、寺、教会など)を使うようにはできないか</p> <p>通い難い不便な所に移るより、気軽に集まることのできる場所を確保できないものか。切望致します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>長年にわたり公共施設として広く市民から利用されてきました堅下合同会館です。私たち団体も随分利用させていただいており、利便性の悪いサンヒル柏原への移転は反対です。存続を切にお願い致します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>堅下合同会館が移動となれば、自転車、徒歩で荷物など持ち、なかなか無理な事です。高齢者ですから、この会館が出来るだけ存続出来ます事をお願いします</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>福祉の催しで堅下合同会館を利用させていただく事もあるのに移転されると参加する事も出来ず楽しみがなくなり困ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>なくさないでほしい！ リビエールで大正琴を教えています。お年を増されても、若々しく楽しそうに自主練習にはげむ姿に感動と勇気をもらっています。利便性の良い堅下合同会館の存続をお願い致します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>堅下合同会館を夜間使用しています。会館まで自転車を利用していますがサンヒル柏原へは到底行けません。柏原市の文化はどうなっていくのか心配です。素案の再考をして下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>私の母(80代)は月2回の「歌の会」を楽しみにしており約20年近く通っております。この度合同会館からサンヒルに移転するという計画を知り、びっくりしていました。サンヒルになったら、もう行けない、辞めなければならぬと申しております。年寄りのささかな楽しみを奪わないで下さい。宜しくお願い致します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>いつ頃迄合同会館使用禁止されるのですか。私達は80才以上の者ばかりなので合同会館以外はむりですので使用できる迄まっていますのでその時はよろしくお願い致します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<ul style="list-style-type: none"> ・堅下合同会館をよく利用させてもらっています。駅に近く平地なので高齢者の会合には大変便利で助かっていました。 ・基本計画ではサンヒル柏原に移転とはそんな無茶な！困ります。 ・登り坂のある駅から遠い施設へばかり移転させるのですか…困ります。反対です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
<p>サンヒルには、行けない。交通の便(へんび、坂がきつい、足腰が心配、天気など、便利な場所でない)、年齢的に大変すぎる) 使用料、移動日もはっきりしていない状態で決められない。ハンドベルは、レッスンにピアノ伴奏が必要で、ピアノはあるのか。 堅下合同会館3Fのグランドピアノはすごくいい。ピアノで使用できなくなったらこのピアノはどうなるのか。団体の意見をきいて、決まったことは連絡してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。

ご意見	検討結果
今でもヨロヨロ、オアシスに行くのにも山を登って行くだけで精一杯。柏原は山道が多いので合同会館が無くなるとどこも行けません。	・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
現在、合同会館を利用しています。今後広報をみる限り、ほとんどの公共施設が山の上に移転予定で、高齢者には利用できません。もっと気軽に利用できるようにしてほしいです。	・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
月2回、堅下合同会館を大正琴練習で利用させて頂いています。 1人で家に閉じこもっているより、皆んなで楽しく、笑顔で練習できることに、生きがいを感じて喜んでいましたのに、突然閉鎖を知り困っています。サンヒルに行く体力ありません！ 修復か、建て替えを考えてください。お願いいたします。	・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
私たちは堅下合同会館を利用しているコーラスグループでメンバー(10人)の意見です。 再整備プランによるサンヒル柏原への移転には反対 理由：メンバーに高齢者が多く、サンヒル柏原は駅から遠く交通の便が悪すぎる 質問：市内循環バスの増便はどの程度なのか？ 近辺の既存の施設(例：小学校や幼稚園などの空き教室など)の利用は考慮されないのか？多世代交流拠点という視点からはその方がふさわしいように思われる	・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
後期高齢者である私は元気で長生き健康寿命を一日でも長く続きますように願いつつ堅下合同会館で現在定期的に利用させて頂いています。又仲間との出会いを楽しみに日々過ごしています。 堅下合同会館の移転報道に驚きです。 高齢者の唯一の楽しみの場所で、どうか一人ひとりの声も聞いてください。本当に困っています。市民の利便性にも考慮をお願いします。	・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。
大正琴で長い間利用させて頂いています。まだまだ大正琴続けてポケ防止につとめて行きたいと思っています。サンヒルでは遠くて坂道で自転車で行くにはとても無理です。堅下合同会館なら自転車で行けるとてもよい場所です。今の場所どうぞ宜しくお願い致します。	・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。

ご意見	検討結果
○健康福祉センターオアシス関係	
<p>現在、ボランティア活動で、オアシスを利用させて頂いていますが、現オアシスが廃止になり、勤労者センターに変更になる様ですがそうなると、参加するのが地理的にもとても不便になり、活動が出来にくくなってしまいます。出来れば、今のまま、オアシスを残して頂きたいです。移転がどうしても必要ならば、循環バスの経路など、運行の方法を検討して頂きたく思います。</p>	<p>・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>子供や高齢者にとって交通の多い危険な場所に徒歩、自転車では行かれません。車のない人は無理です。オアシスができた頃は、近くに公共施設が出来たことで本当にうれしかったです。移転には反対です。もっと市民の利便性をお考え下さい。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>
<p>オアシスへはたまに利用していましたので、今回移転の話がありますが、今迄以上に便利な所に建替えて下さい。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>
<p>3年ぐらい前よりボランティアの「朗読ボランティアやまとがわ」で微力ながら活動させて頂いておりますがこの度廃止となり勤労者センターに移動という事で、今まで楽しく活動させて頂いておりましたが、今後活動していく気持ちが失せています。国分方面からの方達も大変だと思います。交通の便(循環バス可能でしょうか)径路等運行の方法を検討して頂きたいと思っております。</p>	<p>・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。 ・いただきました内容は、今後の検討といたします。</p>
<p>不便になるので困ります。平らな土地に作っていただけると幸いです。オアシスもなくなさないようにして下さい。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>
<p>私達の子育ての時期は予防接種をうける場所といえば、柏原合同会館でした。何年かたって、オアシスができ、一部の人が体操で使ったりしています。今のまま変りもなくオアシスで予防接種も受けられてとても近いので助かります。</p>	<p>・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>

ご意見	検討結果
<p>○老人福祉センターやすらぎの園関係</p> <p>公共施設の多くがなくなると聞いてびっくり。やすらぎの園が近くにあり、術後のリハビリに通ったりしました。近所の人たちも利用しています、不便なサンヒルなど行けません。他の施設も便利な所にあるから利用できていると思います。もっと市民のことを考えて下さい。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>○サンヒル柏原関係</p> <p>サンヒルは年寄りで行けません。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>サンヒルに集約してしまうと駅から遠いので、車のない市民は行くことができません。市民に利用しないように考えているのですか？あまりにも配慮がありません。ひどいです。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>施設再編整備に伴ってのその施設が、高台にあるサンヒル柏原への移転は高齢者にとっては体力的にきびしい所です。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>今まで自転車や歩いて行けたので便利でした。サンヒルまで坂の上りは大変です。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>サンヒル柏原は山の上であり利便性や使い勝手などを考えても市民目線が抜けています。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>サンヒル柏原は不便な場所にあるためダメです。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>50才の時、自転車で行くも、しんどかった。70才の時、今なら尚更サンヒルなんかとても行かれませぬ。今の所で建替えて下さい。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>老体ではサンヒルまでは無理です。もっともって市民の声を聞いて下さい。1カ月では短いです。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>サンヒルは遠く、自転車もありません。生活圏内に、国分合同会館があるのでおけいこの活動がさせて頂けます。存続をおねがいします。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>サンヒルみたいな山の上は不便です</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>サンヒルの宿泊施設や温泉を復活して欲しい。更に今回、建替施設をサンヒルに移転するなど大変不便で反対です。より便利のよい施設を作ってください。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>とてもサンヒルには通えませぬ。国分合同会館に近い所をお願いします。</p>	<p>・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>

ご意見	検討結果
サンヒルは登り坂で年寄りに負担が大きい。交通の便も悪い。分散していないと災害の時使用できない事もある。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
夜間の稽古ごとに徒歩で通っていますが、足腰の衰えでサンヒルまでの坂道はキツイです。利用出来なくなるので移転計画は中止してください！もしだめなら循環バスを1時間毎に市内各地、各駅から、不自由なく乗れるようにしてください。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルまで遠くなるので困ります。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
足が悪いためサンヒルまで行けません。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒル柏原に移転反対	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
高齢者や子ども連れの親子にとっては、サンヒル柏原までの坂道は半端なくキツイものです。サンヒル柏原への移転は、中止していただきたいと思えます。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒル柏原への移転は、車での移動じゃないと、とても不便だと思います。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
山の上の施設ではだれも利用しないと思います。自転車で行けるとか交通の便のいいところにして下さいオアシスとか	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
私は、近所もしんどいの、遠いのは、絶対むりです。サンヒルは、絶対にやめて下さい。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルは遠いです。もっと子供やお年寄りが行ける交通の便がいい所にしてほしいです。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
柏原市は高齢の方が多く住んでいます。どの施設も高齢の方や子育て中の親子のために今の場所にあると思っています。高台にあるサンヒルまでは足腰の弱い近所の方は行けません。移転をせずに、市民の方が住みやすい柏原市の施設づくりをお願いします。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
足が悪いのであんな高台の所にはちょっと行けません。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒル柏原はレジャー目的で建てられたので公共施設には向いていません。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
複合施設がまとまるということは利便性もあるとおもいますが、サンヒルの場所までは急な坂道をどの方角からも使わないとたどり着きません。誰もが行けるよう、送迎の方法を考えていただきたいと思えます。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルまでの道のりを徒歩で行くのはとても困難です。高齢者や小さな子どもを持った者が活動(移動)しやすい立地を考えて下さい。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルまで行かない。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。

ご意見	検討結果
サンヒル柏原への移転は反対です。交通の便が悪くなる事、今までより時間がかかる事。市役所の利用はどうですか？	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルは遠くて坂が急で高齢者には特にきつくて不向きです。それ以外の施設は利便が良いので、現在の場所で存続をお願いします。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルは遠すぎる。利便性のいい、今のところに建てるべし。	・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルはむりです。やめてください。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒルは坂が急で高齢者に不向きです。他の施設は現在の場所で存続した方が便利で、災害の時に避難所にもなります。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
高齢者や幼い子にとって、サンヒル柏原までの坂道はとても大変です。そのため、サンヒル柏原への移転は考えていただきたいと思います。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
・子供、妊婦、お年寄り、身体の不自由な人のことを考えておられるのでしょうか。 ・サンヒルまでは遠い ・子供だけでは行かせない	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
私は高齢で1人暮らしです。市の業事や催しも土日が多くほとんど行くことが出来ず寂しいです。買物は週に1、2度行きましてヘルパーさんの協力で週2度程来てもらっています。何もする事はあまりありませんが近所付き合いも無いのでよけい鬱になります。土日もバスがあれば最終も国分駅では使えません、考え下さい。サンヒルの移転は困ります。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒル柏原への移転は、多くの市民が行きづらいたと考えるため、施設移転を再度考え直して頂きたいです。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒル柏原への道は坂道がかなり急で道幅も広くなく行く手段がありません、本当に不便です。せめて駅から近いか平地にしてほしいと思います。今が便利なので再検討をお願いします。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
安堂駅からサンヒル柏原までは坂道が続き徒歩での道のりは大変だと思います。特に高齢者や子ども達は大変ですし、車の交通量も多いので、事故がなければいいのですが。市内バスの運行回数も多くして、いつでも乗れるようにしてもらいたい。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
サンヒル柏原は絶対反対です。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。

ご意見	検討結果
サンヒル柏原へは、アクセスが悪く、坂道の為、徒歩や自転車で行くのも困難である。	・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。

ご意見	検討結果
<p>○複数施設関係</p>	
<p>・オアシスはまだ老朽化とは言えずまだ使用できるのでは？ ・サンヒルは立地的に不便である。 ・文化センターは市の真ん中にあり、便が良いのでそこに集中させればよいのでは？ 高齢者が多いので車の利用は無理。弱者の立場に立ってほしい。</p>	<p>・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>①公民館機能をサンヒル柏原に移設とのことですが交通の便が悪すぎます。市内循環バスの増便などの配慮とありますが、具体的に示してください。柏原市内の鉄道の各駅からどの程度の便数があるのか土日祝の運行はあるのか等々 ②堅下合同会館・文化センター等は災害時の指定緊急避難場所・指定避難所に指定されていますが、サンヒル柏原へは緊急時の避難は無理があります。 ③スキップKIDSがサンヒル柏原へ移動するとのことですが、小さな子供を連れての坂道は大変で危険が伴いかねません。子育て世代に優しい提案をしてください。 ④堅下合同会館・文化センター等の改修・改装を行いサンヒル柏原を削減対象にする案も考慮の必要があると思われる</p>	<p>①②パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ③サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ④いただきました内容は、ご意見として承ります。</p>
<p>市立柏原図書館、堅下合同会館をサンヒルに移転するということですが、利便性が大きく劣り、現在の利用者が徒歩、自転車で移動することは困難となります。正直、施設(機能)を潰したいとは思えません。市役所のような立派な施設を造る費用を捻出することは困難と思いますが、統合後の小学校を使用するなど、サンヒルへの移転以外の方法を検討していただきたいです。サンヒルへの移転が決定事項なのであれば、公共交通機関(コミュニティバス)などの計画を明確にしていきたいです。</p>	<p>・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。</p>
<p>高齢者はだんだん外出がおっくうになってきます。公共の施設は近くて便利であるからこそ気軽に利用できます。合同会館や文化センターは、ただ趣味を習ったりするだけでなく、交流の場でもあります。いつまでもいきいきと元気でいられる源でもあります。そのような、憩の場・活動の場を無くさないで欲しいです。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。</p>
<p>(堅下合同会館)(公民館本館)(柏原図書館)この移転計画は、市民の利便性や移転した後の使い勝手など何も考えていないと思います。市民目線が抜けています。私の年齢は82才です。</p>	<p>・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。</p>

ご意見	検討結果
<p>サンヒル柏原は、レジャー目的にはよくても、公共施設としての条件(道路、場所、交通)が悪くて不向きです。柏原市民文化センター、堅下合同会館、健康福祉センター、オアシスは立地条件、利便性も良いので今の場所で存続していただきます様お願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
<p>長い間使用させていただき感謝です。サンヒル柏原へのアクセスを考えると、とても通いにくいです。堅下合同会館をなくして、文化センターひとつにして、図書館も是非作って下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。
<p>文化センター、合同会館等のサンヒル移転に強く反対します。多くの人にとって、車以外の手段では行きにくい場所にあり、気軽に利用できなくなります。スキップKidsの移転も同様の理由により反対します。リビエールホールに図書館を移転した場合、市の図書館は国分、安堂地区に片寄ることになります。その場合、第3の図書館の建設を望みます。人口減少をくい止めるためにも、乳幼児から老人まで全世代に魅力ある、文化的な”まち作り”を期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。

ご意見	検討結果
<p>今便利なオアシス、合同会館、文化センター等廃止しないでください。建替える場合はより便利な施設を作ってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。
<p>今回の計画は、本当に“冷めたさ”を感じます。“一応の施設はある”というだけの計画と感じます。例えば現在の文化センターの場所は、平地で、駅から近く、小学校や幼稚園の近くで安心です。堅下合同センターも同様です。駅前のスーパーのサンプラザはお年寄りばかりです。平地で、とても行きやすいからです。サンヒルやリビエールなど行けません。こういう事で節約するのが公の仕事では無いと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。
<p>現在大和川というボランティアで声のたよりや広報の朗読でオアシスを利用させていただきありがとうございます。施設の利用者が一部の市民と高齢者で利用者が少ないとの事ですが幅広い年齢層に利用してもらうには施設への利便性が重要と考えます。再編プランの移転先は便利になる所もありますが高齢者や幼児も持つ世代には不便な所もあるように思います。保健センターはダイレクトに市民プラザ6階に移転した方が多くの市民にとって利便性は良いと思います。サンヒルへの移転は高齢者には大変不便ではないでしょうか。交通手段も合わせて考慮願えれば助かります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターの移転先につきましては、検診用バスの駐車、給電設備等が必要となるため、市役所別館への移転となります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
<p>財政、高齢、少子化を考慮すると、仕方がないとは思いますが、サンヒルへのアクセス。送迎バスの復活。JR柏原～安堂(近鉄線)経由。オアシスについては、市民の生命を守る施設であるため、独立した保健センターの建設を是非、お願いします。財政難、市職員の人員・議員定数の見直し。その他経費の見直し。身を切る改革をお願いしたいものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります。
<p>文化センター、堅下合同会館、オアシス等、移転しないで下さい。私は数年前、柏原市に惚れ込んで他市から転居してきました。歴史ある街、自然豊かな街、そして住民目線のあたたかな街と思ってやってきました。なのにどうでしょう、市民が愛してやまない施設を動かすのですか。やめて下さい！！終のすみかとして移ってきたのに高齢者、子どもに冷たすぎます。特に文化センターはあの場所に建て替えるのが一番です。みんなが喜びます。柏原市に移ってきたことを後悔したくありません。他市に住む友人達にも誇れる柏原市にしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一齐に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。

ご意見	検討結果
<p>私の家は国分地域なので国分図書館を利用しています。皆勤賞がもらえるのではというくらい図書館通いをし、司書さんのお世話になり本を楽しんでいます。</p> <p>大和川があるから柏原地域の人たちは、柏原図書館が必要だと思います。リビエールホールの1階を地下へ移転してどんな図書館になるのでしょうか。</p> <p>また文化センターもサンヒル柏原へ移転となっていますが、行くのが大変ではないでしょうか。今ある所が立地条件としてはベストです。今ある所で建て替えて下さい。そのために市民の意見と知恵を聞いて下さい。またどうしても移転されるというのならその跡地はどうなるのか教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。また、パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 市立柏原図書館について市民文化会館への移設には反対です。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化会館のロビーが狭小化することにより、大規模イベント開催時に混雑し、十分なスペースが確保できずに混乱することが予想されます。また、人の出入りによる雑音により図書館内の静音性が確保できないと思われまます。 ・柏原地区の児童、乳幼児連れの利用者及び高齢者の利便性が悪くなり、特に安堂交差点付近は自動車等の交通量が多く、自転車、歩行者との交通事故が頻発する危険性が高くなると考えます。 ・現在の図書館は小中学校からの距離が近く、図書館前の公園を含めて幼児連れの親子や放課後の児童、生徒たちの居場所として安全、安心を確保できる場となっています。昼過ぎから夕方の現場状況をご覧頂き、現状場所で存続が必要なることを認識して頂きたいと思ひます。 2. 子育て支援センター、公民館(堅下分館を含む)のサンヒル柏原への移転には反対です。 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの利用者は乳幼児連れであることから、自転車、ベビーカーを利用する事が多いと思ひます。サンヒル柏原まで往復するには坂道を上り下りせねばならず、また道も狭く見通しが悪いため非常に危険です。 ・公民館利用者は、高齢者が多いため、交通の利便性が悪く、坂道の上下が必要なサンヒル柏原へ行くことは困難となります。現行の循環バスのルート変更、増便とありますが、夜間、土日祝日は運行出来るのでしょうか。できない場合、多額の費用をかけても結果として利用者の限定、減少を招かざるを得ないと考えます。 3. 市民プラザへのフローラルセンターの移設に反対します。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民プラザ(6階)の会議室は柏原駅直結の場所にあつて、公民館と共に文化・教養のために会議室が利用されています。市民のみならず、他市からも利便性のある場所なので、引き続き会議室を市民に開放すべきと考えます。 4. 防災拠点として、市民文化センター、堅下合同会館、健康福祉センターを存続すべきと考えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・柏原東小校区、堅下小校区の防災拠点としてきた各施設を廃止すれば、今後予想される南海トラフ地震や大型台風などによる大規模災害に対する各地区の十分な面積を確保できる避難場所、避難のための用具の集積場所が不足する事態となります。 5. 柏原市民文化センターの跡地利用に住宅、商業施設として売却するのは反対です。 <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化センターは旧柏原市役所跡地であり、柏原市の歴史の出発点としての位置づけが重要です。また、市内各地からの交通の便も良いので、市民の活発な利活用は可能です。売却せずに市の財産として継続させるべきと考えます。既存の建物を建て替え、施設面積を拡大し、公民館、図書館として拡充を図るべきと考えます。 6. 市民が利用しやすい計画の再構築をすべきと考えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの充実や子どもを育てやすい環境づくりを第一に考え、施設利用者が日頃から便利で使いやすく、安全、安心で快適な環境を維持できるように計画再検討してもらいたいと思ひます。 7. 公共施設等再編整備基本計画(素案)については、市広報でパブリックコメントの募集がありましたが、内容をQRコードで読み取る必要があり、高齢者や生活弱者にとっては、計画内容を認識するのは非常に不便です。計画概要を広報紙面に掲載し、市民に周知の上、再度意見募集をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となつていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となつています。 1. 柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。また、パブリックコメント等の結果を踏まえ、新たな図書館には子どもの遊びや学びが体験できるプレイスペースを配置する計画(案)になります。 2. サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 3. いただきました内容は、ご意見として承ります。 4. 公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。 ・いただきました内容は、ご意見として承ります 5. 人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 6～7. いただきました内容は、ご意見として承ります。
<p>サンヒルまで行けないので困る(坂道が大変)図書館まで遠くなる。老人と子供たちに優しい町にしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。

ご意見	検討結果
<p>公共施設のサンヒルへの集約に反対。75歳高齢。文化センターなぜ建て替えてではないのか？市民の声聞かずして「知る権利」を無視してのやり方反対。図書館は市役所等これも反対。子どもの読み聞かせや、前のスペースでの遊び場も必要。調理室へのサンヒルへの集約も反対。アゼリア6階に調理室移行希望。オアシス 高齢者相談等お世話になっている。市役所とのこと。バスで行けても帰りの便なし。移転反対。</p>	<p>・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>
<p>図書館利用者です。リビエールホールへの移転反対です。文化センター新しく建て替えて下さい。オアシス 家より近く喜んでいのに、市役所別館反対です。オアシスは老朽化していない。移転に反対。移転計画は市民の「知る権利」を考えて後にしてほしい。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>
<p>3月議会の市長答弁には、驚き以外ない。私達市民の利便性、移転後の使いみちなど何も考えていず、市民の立場・目線が全く抜けている。私はサンヒル近くの高井田在住だが、高齢になり、坂道がこたえサンヒルに出向けなくなった。そのサンヒルに、文化センター・老人福祉センターを移転するなど考えられない。どうしてもと言うなら循環バスを、市内各地・各駅から、今以上にひんぱんに運行すべきです。勿論土・日の運行も実施してほしい。また、図書館のリビエール移転も反対。交通量も多く緑がない。緑があるから読書も進み、人が集うのです。</p>	<p>・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。</p>
<p>①図書館がリビエールホールへ移転するのは困ります。今の場所は駅から、自宅からも近く、便利で、皆が利用しやすいと思います。今の場所に建て替えを要求します。 ②公民館本館がサンヒル柏原へ移転すると誰でもが行きづらくなります。文化連盟祭や市民文化祭など参加困難になります。文化センターは是非今の場所に建て替えを。 ③オアシスが勤労者センターへ移転すると循環バスも利用できなくなり、徒歩又は自転車での往復となります。踏切りや国道を越え勤労者センターまでの距離は高齢者に優しくないと思います。</p>	<p>①人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。 ②パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ③オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。</p>

ご意見	検討結果
<ul style="list-style-type: none"> ・柏原図書館と堅下合同会館よく利用させてもらっています。今度リビエール1Fやサンヒルに移転となれば不便で困ります。 ・地域に根ざした利用しやすい公共施設として、今ある所での建て替えをお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。 ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。 ・人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、新たな建物の建設は困難であるため、既存の施設を活用する計画(案)となります。
<p>堅下合同会館や文化センターを毎週利用しています。ここが無くなればサンヒル柏原やリビエールホールまでは利便性が悪くて、これから先活動できなくなります。移転には反対します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。
<p>柏原市民文化センター・堅下合同会館、毎週コーラスの練習で行かせて頂いております、両方なくなってしまうと、生きがいが無くなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。
<p>(堅下合同会館)(公民館本館)(柏原図書館)この移転計画は、市民の利便性や移転した後の使い勝手など何も考えていないと思います。市民目線が抜けています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント等の結果を踏まえ、サンヒル柏原に移転予定の公民館本館を市民プラザ6階に移転する計画(案)に変更となりました。なお、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続することとなります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。
<p>合同会館の移転は選挙の時にどうなるのか？オアシスの移転は何の為か？高齢者には、サンヒル柏原は不便過ぎます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。 ・サンヒル柏原の活用につきましては、駐車場、駐輪場等を整備するほか、市内循環バスの増便、送迎用バス等の交通手段の確保を検討する計画(案)となります。
<p>退職後、地域のみなさん方と朗読ボランティアを、オアシスで、させて頂いています。国分の方々も、オアシスへ参加しやすく柏原図書館も駅に近く利用しやすくなっています。サンヒルやリビエールホールの利用方法を広げることには賛成しますが、オアシスや図書館については改装し、再利用できるようにして頂きたいです。 市内巡回バスを、地域を絞ったゾーンバスにするのはいかがですか？高齢者の免許返納に向けても、ゾーンバスの考え方も必要ではないでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市では、昭和40年代から60年代にかけて、人口の急増や新たな市民ニーズに対応するために多くの公共施設が集中的に整備され、市民生活の利便性や福祉の向上に寄与してきましたが、これらの施設は、今後、改修や建替えの時期を一斉に迎えることとなり、人口減少、少子高齢化の影響などによる厳しい財政運営が見込まれる中では、現在保有する施設をそのまま維持していくことは困難となっていくことから、公共施設を集約化・複合化する再編整備が必要となっています。 ・オアシスの土地は借地のため、市役所別館、勤労者センター等へ移転する計画(案)になります。 ・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。

ご意見	検討結果
<p>現状、柏原図書館並びに堅下合同会館は利用させてもらっています。しかしながらリビエールホールやサンヒル柏原へ移転となると図書館は電車でサンヒルは自転車であればいけません。これは交通弱者である老人、子供、免許のない人々を無視しており、許すわけにはいけません。移転は絶対に反対します。市民ファーストの行政を希望します。市民を無視しないでください。よろしくお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none">・柏原図書館は、リビエールホール、大和川河川空間オープン化との相乗効果が得られるよう再編整備する計画(案)になります。・公民館本館が市民プラザ6階への移転に変更となったことに伴い、堅下合同会館は市民プラザの急激な利用の増加を緩和するため、当面の間使用を継続する計画(案)になります。

ご意見	検討結果
○その他	
文化会館をなくさないようにお願いします。	・文化会館(リビエールホール)の1階と地下1階に図書館機能を移転しますが、文化会館は存続する計画(案)となっています。
私は、青谷に住んでいます。高齢者になり、膝を痛め施設を自由に利用出来ません。もう少し若い頃でも近くにあればと思いました。代筆でお願いしましたがぜひ、私の願いを聞いて下さい。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
文化会館なくさない様お願いします	・文化会館(リビエールホール)の1階と地下1階に図書館機能を移転しますが、文化会館は存続する計画(案)となっています。
税金のむだだ	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
市民の身を切る改革はやめて下さい。	・いただきました内容は、ご意見として承ります。
小学校の空き教室や公立幼稚園跡地を活用する	・いただきました内容は、ご意見として承ります。